

臨床化学 第52巻 補冊1号 (2023年10月3日 発行)

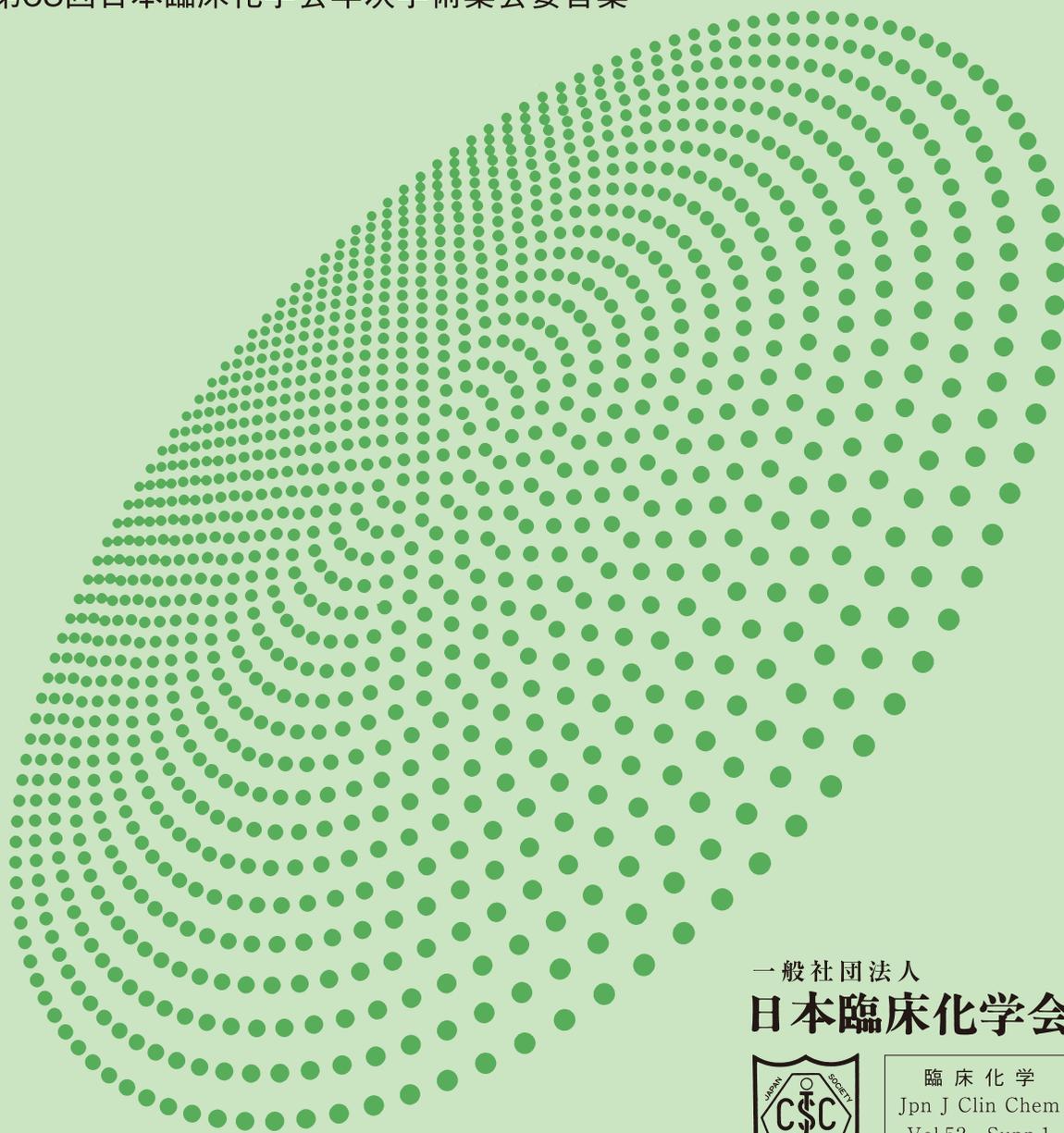
ISSN 0370-5633
CODEN : RIKAAN

臨床化学

2023
Vol.52 Supp.1

JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL CHEMISTRY

第63回日本臨床化学会年次学術集会要旨集



一般社団法人
日本臨床化学会



臨床化学
Jpn J Clin Chem
Vol.52 Supp.1

<https://www.jscj-jp.gr.jp>

中性脂肪の数値が気になる方のための情報サイト

中性脂肪.jp



∴ 忙しいけれど、こんなことが気になる人のために ∴

中性脂肪の
検査値が150を
超えていた

私の検査値は
どれくらい
危険？

中性脂肪を
下げる
食品は？

乳製品は
中性脂肪を
上げる？

忙しいけれど中性脂肪の検査値が気になる方に寄り添う情報サイトとして、
中性脂肪に関する疑問への答えや一人ひとりに合った下げ方が見つかるよう情報発信します。

中性脂肪.jp

中性脂肪の数値が気になる方のための情報サイト

<https://中性脂肪.jp/>

URLで検索



Kowa 興和株式会社



人々の健康と
豊かさへの貢献が、
私たちのテーマです

脂質検査試薬シリーズ

体外診断用医薬品 製造販売届出番号：13A2X0017205Y001
コレステロールキット

デタミナーL TC II

体外診断用医薬品 製造販売届出番号：13A2X00172061001
トリグリセライドキット

デタミナーL TG II

体外診断用医薬品 製造販売届出番号：13A2X00172088001
HDL-コレステロールキット

メタボリードHDL-C

体外診断用医薬品 製造販売届出番号：13A2X00172126001
LDL-コレステロールキット

メタボリードLDL-C

体外診断用医薬品 製造販売届出番号：218AAAMX00010000
レムナント様リポ蛋白コレステロールキット

メタボリードRemL-C

◆詳細は製品添付文書をご参照ください。



第 63 回日本臨床化学会年次学術集会

抄録集

会 期：2023 年 10 月 27 日（金）～29 日（日）

テーマ：持続可能な医療の質を支える 臨床化学の発展

主 催：一般社団法人 日本臨床化学会

集会長：吉田 博（慈恵大学 理事、東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長/
東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 教授）

目 次

ご挨拶	2
第 63 回日本臨床化学会 年次学術集会事務局	3
協賛企業一覧	4
交通案内・周辺案内・会場案内	5
関連会議日程	7
参加者の皆様へ	8
座長・演者の先生方へ	10
日程表	14
講演一覧	17
共催セミナー一覧	20
学会賞受賞者一覧	23
プログラム	24
索引	56
抄録	61

ご挨拶



第 63 回日本臨床化学会年次学術集会 集会長
吉田 博
(学校法人慈恵大学 理事・東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長
東京慈恵会医科大学臨床検査医学講座 教授)

この度、第 63 回日本臨床化学会年次学術集会の集会長を担当することになり、2023 年 10 月 27 日（金）～29 日（日）の 3 日間、東京都千代田区ソラシティカンファレンスセンターにおいて開催いたします。東京慈恵会医科大学が学術集会を担当するのは日本臨床化学会の歴史上初のことでございますので、身の引き締まる思いであります。

わが国では 2020 年から続く新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行の波が幾度も繰り返し、2023 年は始まりから第 8 波のなかにあつて夏には第 9 波の状況となり、インフルエンザの流行も若干あります。しかしながら人類は、これまでの歴史のなかで幾つもの困難を乗り越えて、経験・学び・知とともに努力を重ね現在に在ります。

世界的・国家的課題である持続可能な開発目標・SDGs のなかで、目標 3「すべての人に健康と福祉を」には、医学・医療の果たす役割が大きいことは論を俟ちません。またビッグデータ・デジタル革命・技術革新がどのように医学・医療を変えていくかが注目されていますが、そうしたなかで基本となるのはデータを発信する臨床化学をはじめとする臨床検査医学の成果の結実に他なりません。日本臨床化学会は広範な臨床化学研究分野から、実践的な標準法等の勧告、産学官連携も含めた新規検査法の開発や検査精度の維持・向上など、臨床化学の学術と臨床検査現場の活動を発展させるのに欠かすことができない貢献を続けています。かかる意味から、今回の学術集会のテーマは「持続可能な医療の質を支える 臨床化学の発展」としました。発見・発明そして社会実装など不断の努力の成果が、臨床化学および関連する周辺分野の世界のなかで展開しています。こうした確かな果実あるいは今後期待される成果を皆様と共有し、臨床化学の未来について共に語り合う場として第 63 回日本臨床化学会年次学術集会がお役に立てればと存じます。

主な学術プログラムとしては、特別講演として矢富裕先生（国際医療福祉大学大学院長）から「医療の質を支える臨床化学の発展と社会実装」、柳沢正史先生（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IHIS））からは「睡眠の謎に挑む：『眠気』の実体を求めて」をご講演いただきますが、まさしく今回のテーマを代表するご講演であり、学会参加の皆様にも多くのメッセージが伝わることと期待しております。そして集会長講演およびエキスパートの先生方による教育講演 3 題の他に、シンポジウム 9 個、企業シンポジウム 1 個、YIA シンポジウム 1 個、一般演題・学生演題 106 題のご発表、共催セミナー 11 個をはじめ多くの各種ご協賛を賜り、皆様のご協力で盛会に開催できる準備を進めることができています。また可能な範囲のなかで、学会参加者の皆様が交流を深めるように、2 日目、10 月 28 日（土）の夕方からは懇親会を企画しております。そのなかでは、公益財団法人静岡県舞台芸術センターの宮城嶋遥加様による朗読劇「三保松原 羽衣の夢」がございませので、是非お楽しみください。

多くの学会員ならびに検査関連メーカーの方々をはじめ、臨床化学とともに語らう多数の皆様の参加をお待ちしております。ご高配のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

第 63 回日本臨床化学会 年次学術集會事務局

学術集會長：吉田 博

(慈恵大学 理事、東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長
東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 教授)

副学術集會長：小倉 正恒 (順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科 教授)

集會事務局：東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部

〒277-8567 千葉県柏市柏下 163 番地 1

事務局長 政木 隆博

委員 秋月 摂子、長谷川 智子、佐藤 亮

運営事務局：株式会社サンプラネット 東京事業部

メディカルコンベンションユニット

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6 階

TEL：03-5940-2614 FAX：03-3942-6396

E-mail：jscc63@sunpla-mcv.com

【日本臨床化学会】

代表理事：三井田 孝 (順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学 教授)

【プログラム委員】

小倉 正恒 (順天堂大学 医療科学部 臨床検査学科 教授)

廣渡 祐史 (埼玉県立大学 教授)

石井 直仁 (北里大学 教授)

大川龍之介 (東京医科歯科大学 教授)

政木 隆博 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 教授)

阿部 正樹 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 技師長)

(敬称略)

協賛企業一覧

【共催セミナー】

アボットジャパン合同会社	株式会社カイノス
キシダ化学株式会社	JNC 株式会社
シスメックス株式会社	株式会社島津製作所
積水メディカル株式会社	デンカ株式会社
ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル・アフケアーズ本部	株式会社 日立ハイテク
富士フイルム和光純薬株式会社	株式会社理研ジェネシス
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	

【機器・試薬セミナー】

栄研化学株式会社	株式会社 LSI メディエンス
東ソー株式会社	浜松ホトニクス株式会社
株式会社ビー・エム・エル	ベックマン・コールター株式会社

【展示】

株式会社アイビー	アークレイマーケティング株式会社
大塚製薬株式会社	株式会社グライナージャパン
株式会社島津製作所	東ソー株式会社
株式会社ネクサスエージェント	

【広告】

旭化成ファーマ株式会社	アステラス製薬株式会社
アッヴィ合同会社	株式会社池田理化
株式会社エイアンドディー	H.U. フロンティア株式会社
株式会社エスアールエル	MSD 株式会社
関東化学株式会社	興和株式会社
島津ダイアグノスティックス株式会社	第一三共株式会社
武田薬品工業株式会社	東ソー株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	ファイザー株式会社
富士レピオ株式会社	株式会社プリメディカ
ベックマン・コールター株式会社	ミナリスメディカル株式会社
持田製薬株式会社	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

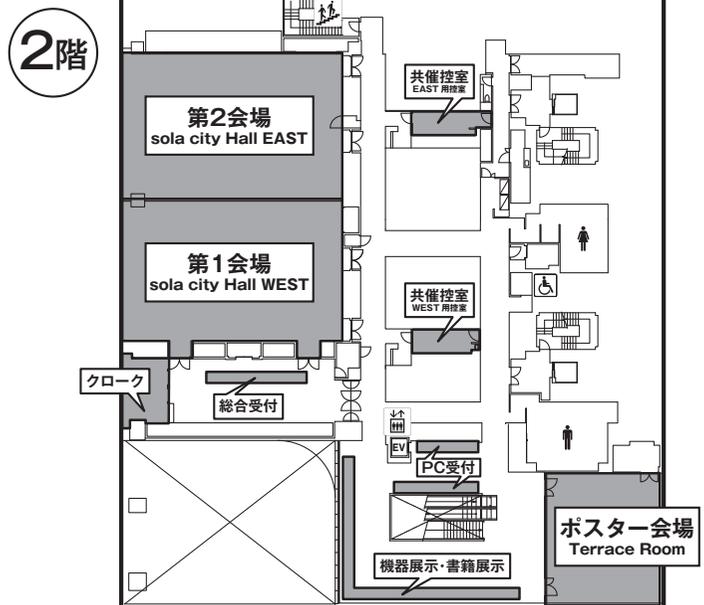
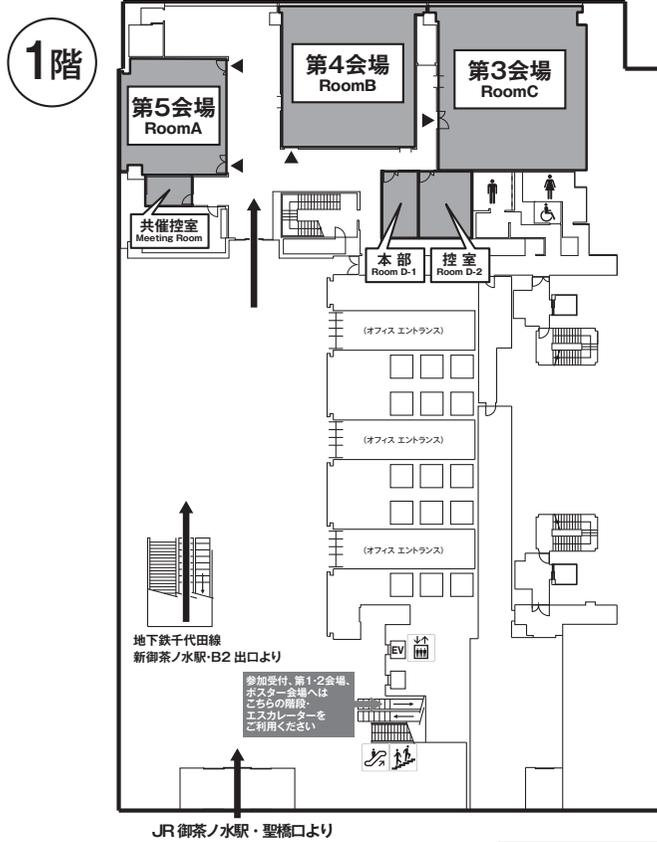
【寄附】

ニプロ ES ファーマ株式会社

(2023年9月現在 五十音順 敬称略)

会場案内

御茶ノ水 ソラシティ カンファレンスセンター



関連会議日程

10月27日（金）【第1日目】

- ・ **常務理事会**

※会期前に別途オンラインで開催いたします。会期中の開催はございません。

- ・ **拡大理事会**

【時間】 18：00～19：30 【会場】 第2会場「sola city Hall EAST」

10月28日（土）【第2日目】

- ・ **評議員会**

【時間】 8：30～9：20 【会場】 第1会場「sola city Hall WEST」

- ・ **総会**

【時間】 13：50～14：30 【会場】 第1会場「sola city Hall WEST」

参加者の皆様へ

1. 会期・開催形式

会期：2023年10月27日（金）～10月29日（日）

開催形式：本学会は、現地開催のみとさせていただきます。WEB配信はございません。

2. 参加期間

1) 本学会は、原則としてオンライン参加登録での受付とさせていただきます。

当日現地での受付は、ネームカードの受渡し、一部学生の方の参加登録、懇親会参加登録のみ承ります。恐れ入りますが、事前にオンラインにて参加登録をお済ませいただけますよう、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

<参加登録期間>

①早期登録料金：2023年9月19日（火）～10月10日（火）23：59 まで

②通常登録料金：2023年10月11日（水）～10月29日（日）12：30 まで

<学術集会参加費>

区分	早期登録参加費	通常登録参加費
一般（会員）	10,000円	12,000円
一般（非会員）	11,000円	12,000円
名誉会員	無料	
有功会員	5,000円	
学生（大学学部生・大学院生）※	2,000円	

※学生・大学院生は「学生証」をご提示ください。

また、要旨集（電子版/PDFデータ）は会員の皆様に事前に公開いたしますが、非会員の方や別途必要な方には、1部3,000円にてご購入いただけます。印刷版はございません。

<会場受付>

場所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2階

時間：10月27日（金）10：00～17：30

10月28日（土）8：15～18：00

10月29日（日）8：40～12：30

<会員懇談会参加費>

区分	参加費
一般（会員・非会員）	4,000円
学生（大学学部生・大学院生）	2,000円

オンラインからの決済は対応していませんので、恐れ入りますがご来場時に会場受付にて、別途現金にて参加費をお支払いいただけますようお願いいたします。

2) 会期中、日本臨床化学会事務局がデスクを開設いたします。こちらで入会費、年会費の払い込みが可能です。

3. クローク

学会当日、以下の通りクロークを設けます。

<クローク>

場所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2階

時間：10月27日（金）10：00～17：30

10月28日（土） 8：15～18：00

10月29日（日） 8：40～13：30

4. 会員懇親会

・第1部：朗読劇

場 所：第1会場 2階「sola city Hall WEST」

時 間：10月28日（土）18：45～19：20

・第2部：懇親会

場 所：第2会場 2階「sola city Hall EAST」

時 間：10月28日（土）19：25～20：30

参加費：一般（会員・非会員）4,000円、学生（大学学部生・大学院生）2,000円

※ご参加希望の方は、当日会場にて参加申込をお願いいたします。

参加費は現金のみのお取り扱いとなります。

5. ランチョンセミナー

オンライン参加登録をされた方は、ランチョンセミナーの事前予約が可能です。

整理券は事前にPDFファイルで送付しますので、当日は会場にて整理券をご提示ください。

6. Wi-Fi

会場内では、Free Wi-Fiをご利用いただけます。

7. 撮影・録音について

会場内での撮影・録音は禁止といたします。

ただし、事務局の公式記録及び事務局が認めた取材等は除きます。

座長・演者の先生方へ

1. 座長の先生方へ

1) 登壇形式について

- ・現地会場へお越しいただき、進行をお願いいたします。
- ・オンライン会議システムを用いた遠隔地からのご登壇はできませんのでご了承ください。
- ・急遽、現地での登壇が叶わなくなった場合は速やかに運営事務局までお知らせください。

2) セッション進行について

- ・当日、セッション開始 10 分前までに、会場内右手前方「次座長席」へお越しください。
- ・発表時間、質疑時間を厳守し、時間内の進行にご協力をお願いいたします。
(時間配分は運営事務局より個別にご案内申し上げます。)

3) ポスターセッションについて

- ・一般演題（ポスター）の座長の方は、セッション開始 10 分前までにポスター受付にお立寄りいただけますようお願いいたします。指示棒・ストップウォッチを貸し出しいたしますので、時間になりましたら開始ください。
なおポスター受付は、セッション開始の 1 時間前より会場前にて開設いたします。

2. 演者の先生方へ

1) 発表形式について

- ・現地会場へお越しいただき、ご発表をお願いいたします。
- ・オンライン会議システムを用いた遠隔地からのご登壇はできません。
現地での発表ができない場合には、ご提出いただいた動画を再生いたします。
- ・発表時間はセッションにより異なります。事前にご案内した内容をご参照ください。
プログラムの進行に支障のないよう発表時間は厳守してください。

2) 発表データ受付について

- ・セッション開始 10 分前までに、会場左手前方の「次演者席」にお座りください。
- ・当日、以下の時間で PC 受付を設けます。
セッション開始 30 分前までに、PC 受付にてデータ受付をお済ませください。

<PC 受付>

日程	時間	場所
10月27日(金)	10:00~16:20	御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター 2階
10月28日(土)	9:00~18:00	
10月29日(日)	8:50~11:00	

3) データ受付時の注意事項

【メディア（USB フラッシュメモリー/Windows のみ）をご持参される方】

- ・メディアでの受付は、Windows で作成されたデータのみとなります。
Macintosh で発表データを作成される方は、ご自身の PC をお持ち込みください。
- ・お持ち込みいただけるメディアは USB フラッシュメモリーのみです。
- ・メディアはウイルス定義データを最新のものに更新されたセキュリティソフトを用い

て、ウイルスに感染していないことを必ず確認した上でお持ち込みください。

- ・発表データ作成後、作成した PC 以外の PC で正常に動作するかチェックしてください。
 - ・持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）と動画データ以外入れないようにしてください。
 - ・ファイル名は「セッション名_演者名.pptx」としてください。（例：シンポジウム 1_発表太郎.pptx）
 - ・事務局で用意する PC の OS は Windows、アプリケーションは PowerPoint for Microsoft 365 になります。
 - ・画像の解像度は XGA（1024×768）です。
 - ・フォントは下記を推奨します。
日本語：MS ゴシック/MSP ゴシック/MS 明朝/MSP 明朝
英語：Times New Roman/Arial/Arial Black/Arial Narrow/Century/Century Gothic/Georgia
- ※上記以外のフォントを使用した場合は、文字・段落のずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。
- ・動画や音声をご使用になる場合は、PC 受付にて必ず申し出てください。
 - ・動画を PowerPoint に埋め込む場合、Windows Media Player で再生可能な形式としてください。
 - ・動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。これは、データをメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動作確認することによりチェックできます。なお、動画ファイルには拡張子（.wmv/.mpg など）を必ず付けてください。また、使用動画データもフォルダと一緒に保存してください。
 - ・「発表者ツール」の使用はご遠慮ください。発表原稿が必要な方は、予めご自身で原稿を印刷してご持参ください。

【ご自身の PC を持参される方（Macintosh の方）】

- ・PC 受付で発表データを確認した後、発表予定の 20 分前までに発表会場内の左手前方演台付近にあるオペレーター席まで PC をお持ちください。また発表終了後も、オペレーター席で PC をご返却いたします。
- ・電源アダプタを必ずご持参ください。
- ・ご自身の PC の外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は接続用の端子を必ずご持参ください。接続は HDMI となります。
- ・画像の解像度は XGA（1024×768）です。
- ・動画使用は可能ですが、本体液晶画面に動画を表示されても、PC の外部出力に接続した画面には表示されない場合があります。実際にお持ちいただく PC の外部出力にモニターまたは、プロジェクターを接続して予めご確認ください。
- ・動画や音声をご使用になる場合は、PC 受付にて必ず申し出てください。
- ・発表データはデスクトップ画面に保存していただき、ファイル名は「セッション名_演者名.pptx」としてください。（例：シンポジウム_発表太郎.pptx）
- ・スクリーンセーバー、省電力設定、起動時のパスワード設定は、事前に解除しておいてください。

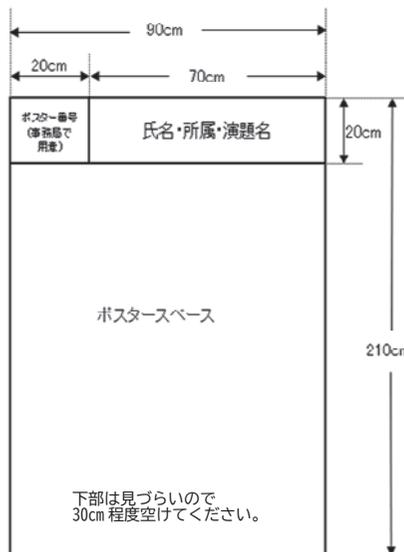
- ・念のため、バックアップデータを保存したメディアを必ずお持ちください。
- ・発表会場ではデータの修正はできません。
- ・講演終了後は、できるだけ速やかに会場内のオペレーター席にて、ご自身のPCをお引取りください。

4) ポスター発表者の注意事項

- ・現地開催のみとなります。別途口演発表の必要はありません。
- ・1演題の持ち時間は、発表3分・質疑応答2分です。
- ・セッション開始時間となりましたら、ご自身のポスター前にお立ちになり、座長の進行にしたがってご発表をお願いいたします。
- ・スケジュールは以下の通りです。

ポスター貼付	10月28日(土) 10:00~11:00
ポスター閲覧	10月28日(土) 11:00~17:00
ポスターセッション	10月28日(土) 17:00~17:35
ポスター撤去	10月28日(土) 18:00~19:00

- ・横幅90cm×高さ210cmのボードに掲示していただきます。
- ・ボードの左上、20cm×20cmにポスター番号を事務局にて貼付します。



3. COI (利益相反) 開示のお願い

- 1) 当日のご発表時に利益相反 (COI) についての情報開示をお願いいたします。(全演題該当)
- 2) 第63回日本臨床化学会年次学術集会では、利益相反の有無に関わらず、すべての筆頭著者に利益相反情報の開示をお願いしています。
学生会員が筆頭著者の場合はその発表の指導者 (Corresponding Author) がCOIの自己申告開示を行ってください。
- 3) タイトルスライドを設け、2枚目 (タイトルスライドの後) に開示スライドを入れて、開示してください。

(申告すべき COI 状態がない時)

演題名:XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

所属: 1. ○○大学 △△△△
2. □□大学附属病院
3. △△大学大学院□□

名前: ○○ ○○^{1,2}, ○□ ○○², □□ □□¹, △△ △△^{1,3},

本演題に関連して、筆頭著者に開示すべきCOIはありません。



一般社団法人日本臨床化学会

(申告すべき COI 状態がある時)

演題名:XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

所属: 1. ○○大学 △△△△
2. □□大学附属病院
3. △△大学大学院□□

名前: ○○ ○○^{1,2}, ○□ ○○², □□ □□¹, △△ △△^{1,3},

本演題に関連して、筆頭著者の開示すべきCOIは 下記のとおりです。

(※以下の①から⑨の例を参照して記入)

- ①○○株式会社より本日より1年以内に報酬料を受領しています。
- ②○○株式会社の株を保有しています。
- ③○○株式会社より本日より1年以内に特許使用料を受領しています。
- ④○○株式会社より本日より1年以内に講演料を受領しています。
- ⑤○○株式会社より本日より1年以内に原稿料を受領しています。
- ⑥○○株式会社より本日より1年以内に受託研究・共同研究費を受領しています。
- ⑦○○株式会社より本日より1年以内に奨学寄付金を受領しています。
- ⑧○○株式会社の客付講座に所属しています。
- ⑨○○株式会社より本日より1年以内に報酬を受領しています。



一般社団法人日本臨床化学会

(企業の発表の場合)

演題名:XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

所属: 1. ○○株式会社 開発部
2. ○○株式会社 中央研究所
3. ○○大学 △△△△

名前: ○○ ○○^{1,2}, ○□ ○○², □□ □□¹, △△ △△^{1,3},
○△ □○^{1,2}

例) 本演題の筆頭著者は企業に所属しており、研究費および
該当するものの給与等は○○株式会社より支給されています。
※この例を参考にして作成すること。



一般社団法人日本臨床化学会

	第1会場 2階 sola city Hall WEST	第2会場 2階 sola city Hall EAST	第3会場 1階 Room C	第4会場 1階 Room B
9:00				
10:00				
10:20~10:30	開会挨拶			
10:30~11:00	プロジェクト報告 1 酵素・試薬専門委員会		10:30~11:00 プロジェクト報告 3 基準範囲共用化専門委員会	10:30~11:00 プロジェクト報告 4 栄養専門委員会
11:00		11:00~11:30 プロジェクト報告 2 POCT 専門委員会		
11:35~12:25	ランチョンセミナー 1 演者 二宮 利治 座長 小倉 正恒 共催：デンカ株式会社	11:35~12:25 ランチョンセミナー 2 演者 能祖 一裕 座長 政木 隆博 共催：富士フイルム和光純薬株式会社	11:35~12:25 ランチョンセミナー 3 演者 横瀬 智之 座長 藍 智彦 共催：シスメックス株式会社/ 株式会社理研ジェネシス	
12:00				
12:35~13:25	学術集会長講演 臨床化学の発展に志す課題解決型 研究の推進と社会実装へのチャレンジ 演者 吉田 博 座長 三井田 孝			
13:00				
13:30~14:20	教育講演 1 腎臓再生医療の臨床実装に 向けた障壁と克服 演者 横尾 隆 座長 山田 俊幸	13:30~14:30 一般演題(口演) 1 脂質 1 座長 恵 淑萍 蔵野 信 O1-1~O1-6	13:30~14:20 一般演題(口演) 2 病態解析/検査診断 1 座長 後藤 和人 村上 正巳 O2-1~O2-5	13:30~14:20 一般演題(口演) 3 機器・試薬 1 座長 松下 一之 佐藤 亮 O3-1~O3-5
14:00				
14:30~16:30	シンポジウム 1 糖尿病患者に対する 糖代謝異常・脂質代謝異常に 関する臨床検査 座長 柳内 秀勝 廣渡 祐史 S1-1 高橋 紘 S1-2 眞仁田大輔 S1-3 廣渡 祐史 S1-4 伊藤 康樹 S1-5 柳内 秀勝	14:35~16:35 YIA シンポジウム 座長 瀧田 悦子 三浦 雅一 YIA-1 佐崎 生 YIA-2 西原 ゆり YIA-3 吉本 明 YIA-4 涌井 杏奈 YIA-5 竹林 史織 YIA-6 松尾 佳乃 YIA-7 川野 伶緒 YIA-8 溝淵あかね YIA-9 十島 崇嘉	14:30~16:30 シンポジウム 2 Lp (a) の最新研究 座長 吉田 博 小倉 正恒 S2-1 吉田 博 S2-2 舟橋紗耶華 S2-3 多田 隼人 S2-4 三井田 孝	14:30~16:30 シンポジウム 3 臨床検査におけるピットフォール 事例報告・討論会 2023 座長 三好 雅士 中野 恵一 S3-1 三好 雅士 S3-2 小島 和茂 S3-3 宮本 博康 S3-4 井上 悦子 S3-5 中野 恵一
15:00				
16:00				
16:40~17:40	特別講演 1 医療の質を支える臨床化学の 発展と社会実装 演者 矢富 裕 座長 吉田 博			16:55~17:45 アフタヌーンセミナー 演者 松下 一之 座長 前川 真人 共催：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
17:00				
18:00				

日程表

10月28日(土)【第2日目】

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	ポスター会場
	2階 sola city Hall WEST	2階 sola city Hall EAST	1階 Room C	1階 Room B	1階 Room A	2階 Terrace Room
9:00	8:30~9:20 評議員会					
10:00	9:30~10:20 教育講演 2 Liquid chromatography tandem mass spectrometry (LC-MS/MS) を用いたビタミンD 精密定量とその課題 演者 越智 小枝 座長 橋口 照人	9:30~11:30 シンポジウム 4 新しい脂質低下薬の創薬ターゲット 座長 三井田 孝 小倉 正恒 和田 郁人 S4-1 岡崎 啓明 S4-2 石井伊都子 S4-3 小倉 正恒 S4-4	9:30~10:30 学生シンポジウム 1 座長 阿部 正樹 廣渡 祐史 清水 梨帆 SS1-1 孫 成清 SS1-2 孫 弘人 SS1-3 松浦 花 SS1-4 竹下 実央 SS1-5 成田 実央	9:30~11:30 シンポジウム 5 臨床化学検査の再検査について考える 座長 大川龍之介 岡村 邦彦 S5-1 宮本 博康 S5-2 吉川 直之 S5-3 中川 央充 S5-4 関田 綱基	9:30~11:30 シンポジウム 6 TDM シンポジウム (キックオフ シンポジウム) 座長 城野 博史 菅野 光俊 S6-1 増田 智先 S6-2 菅野 光俊 S6-3 菊地 正史 S6-4 島本 裕子 S6-5 山崎 伸吾	
11:00	10:30~11:20 JSCC 国際企画セミナー The Use of the Adaptive Learning Concept in Laboratory Medicine. 演者 Nader Rifai 座長 坂本 秀生		10:30~11:30 学生シンポジウム 2 座長 下澤 達雄 石井 直仁 S2-1 殿崎 達矢 S2-2 倉本 宗樹 S2-3 水谷 興 S2-4 米丸 眞 S2-5 北村 夏樹			11:00~17:00
12:00	11:45~12:35 ランチョンセミナー 4 演者 三浦 昌朋 司会 四方 正光 共催：株式会社島津製作所	11:45~12:35 ランチョンセミナー 5 演者 宿屋 敬 座長 中川 央充 共催：株式会社カインス	11:45~12:35 ランチョンセミナー 6 演者 小倉 正恒 座長 吉田 博 共催：ノバルティスファーマ株式会社 メディカル・アフェアーズ本部	11:45~12:35 ランチョンセミナー 7 演者 木村 哲也 座長 川野 克己 共催：キシダ化学株式会社/ JNC 株式会社		
13:00	12:45~13:35 一般演題(口演) 4 病態解析/検査診断 2 座長 浦井 昌俊 柳原 克紀 O4-1~O4-5	12:45~13:45 一般演題(口演) 5 脂質 2 座長 木村 秀樹 稲津 明広 O5-1~O5-6	12:45~13:25 一般演題(口演) 6 ゲノムと遺伝子情報/分子病理学 座長 中山 智祥 末岡榮三朗 O6-1~O6-4	12:45~13:35 一般演題(口演) 7 機器・試薬 2 座長 山下 計太 大久保滋夫 O7-1~O7-5	12:45~13:35 一般演題(口演) 10 精度管理・標準化・その他 座長 堀田多恵子 三宅 一徳 O10-1~O10-5	
14:00	13:50~14:30 総会					ポスター閲覧
15:00	14:40~15:40 特別講演 2 睡眠の謎に挑む： 「眠気」の実体を求めて 演者 柳正 正史 座長 吉田 博					
16:00	15:50~16:50 受賞講演 座長 恵 淑萍 山下 計太 学術賞 中川 沙織 技術賞 高木 潤	15:50~17:20 機器・試薬セミナー 座長 木村 聡 宮城 博幸 ERS-1 辻本 眞 ERS-2 平野 佑樹 ERS-3 吉岡 奈美 ERS-4 阿部 雅仁 ERS-5 数村 公子 ERS-6 平畑 光一	15:50~18:20 第18回 企業シンポジウム 医療の質を支える腸内細菌叢 ～もう一つの臓器に迫る～ 座長 宮田 満 岩崎 陽介 CS-1 亀山 恵司 CS-2 福田 眞嗣 CS-3 植松 智	15:50~16:50 一般演題(口演) 8 脂質 3 座長 平山 哲 高橋 祐司 O8-1~O8-6	15:50~16:40 一般演題(口演) 11 COVID-19 座長 米谷 直人 菊地 良介 O11-1~O11-5	
17:00	17:00~17:50 教育講演 3 固形癌におけるがんゲノム医療の現状と展望—SCRUM-Japan の成果から紐解く— 演者 吉野 孝之 座長 前川 真人			16:50~17:40 一般演題(口演) 9 測定法・技術 座長 廣渡 祐史 山内 一由 O9-1~O9-5	16:50~17:40 一般演題(口演) 12 免疫 座長 清宮 正徳 黒崎 祥史 O12-1~O12-5	17:00~17:35
18:00	18:45~19:20 朗読劇	19:25~20:30 懇親会		17:40~18:30 イブニングセミナー 演者 増田亜希子 座長 東田 修二 共催：積水メディカル株式会社	17:40~18:30 一般演題(ポスター) 1 座長 仁井見秀樹 松井 啓隆 P1-1~P1-7 一般演題(ポスター) 2 座長 川崎 健治 加藤 公則 P2-1~P2-7	ポスター発表

	第1会場 2階 sola city Hall WEST	第2会場 2階 sola city Hall EAST	第3会場 1階 Room C	第4会場 1階 Room B
9:00				
9:20~11:20	9:20~11:20	9:20~11:20	9:20~11:20	9:20~10:10 一般演題(口演)13 酵素 座長 石井 直仁 金子 誠 O13-1~O13-5
10:00	シンポジウム7 HDL機能検査の現状と課題 座長 小倉 正恒 大川龍之介 S7-1 遠藤 康弘 S7-2 吉田 博 S7-3 堀内 優奈 S7-4 社 隆嗣 S7-5 小倉 正恒	シンポジウム8 肝疾患における バイオマーカー研究 座長 政木 隆博 田中 靖人 S8-1 古谷 裕 S8-2 秦 咸陽 S8-3 山田 幸司 S8-4 相崎 英樹 S8-5 島上 哲朗	シンポジウム9 古くて新しい動物臨床化学 ~忘れてはいけないこと、 そして未来にむけて~ 座長 倉田 昌明 蓑毛 博文 S9-1 豊田 直人 S9-2 鋸岡 孝 S9-3 佐々木大祐 S9-4 平澤 由貴	10:20~11:10 一般演題(口演)14 栄養・その他 座長 目黒 周 石橋みどり O14-1~O14-5
11:00				
11:30~12:20	11:30~12:20	11:30~12:20		
12:00	ランチョンセミナー8 演者 高野 浩邦 座長 政木 隆博 共催:アボットジャパン合同会社	ランチョンセミナー9 演者 和田 哲 座長 大川龍之介 共催:株式会社日立ハイテック		
	12:30~12:35 閉会挨拶		12:35~13:00 関東支部常任幹事会	
13:00		第39回日本臨床化学会 関東支部例会 例会長 小谷 和彦	例会報告	
14:00			13:30~15:30 臨床化学アカデミー 座長 小谷 和彦 山田 俊幸 CA-1 茂久田 翔 CA-2 石井 直仁	
15:00				
16:00				
17:00				
18:00				

講演一覧

特別講演

1. 医療の質を支える臨床化学の発展と社会実装

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

演者：矢富 裕（国際医療福祉大学 大学院）

2. 睡眠の謎に挑む：『眠気』の実体を求めて

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

演者：柳沢 正史（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IHS））

学術集会長講演

臨床化学の発展に志す課題解決型研究の推進と社会実装へのチャレンジ

座長：三井田 孝（順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学）

演者：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

受賞講演

座長：恵 淑萍（北海道大学 大学院保健科学研究院）

山下 計太（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

学術賞 コレステロール合成・吸収・代謝物の高感度定量法の開発とバイオマーカーなどへの臨床応用

演者：中川 沙織（新潟薬科大学医療技術学部 臨床検査学科 臨床分析化学研究室）

技術賞 尿中プロスタグランジン E2 主要代謝産物の全自動免疫測定用試薬“ルミバルスプレスト PGE-MUM”の開発

演者：高木 潤（富士レビオ株式会社 研究開発本部）

JSCC 国際企画セミナー

The Use of the Adaptive Learning Concept in Laboratory Medicine.

座長：坂本 秀生（神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科）

演者：Nader Rifai（Departments of Laboratory Medicine and Pathology, Boston Children's Hospital and Harvard Medical School, Boston, MA, USA）

教育講演

1. 腎臓再生医療の臨床実装に向けた障壁と克服

座長：山田 俊幸（自治医科大学医学部 臨床検査医学講座）

演者：横尾 隆（東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科）

2. Liquid chromatography tandem mass spectrometry (LC-MS/MS) を用いたビタミンD精密定量とその課題

座長：橋口 照人（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野/鹿児島大学病院 検査部）

演者：越智 小枝（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座）

3. 固形癌におけるがんゲノム医療の現状と展望—SCRUM-Japanの成果から紐解く

座長：前川 真人（浜松医科大学医学部）

演者：吉野 孝之（国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部門）

プロジェクト報告

1. 酵素・試薬専門委員会

座長：内海 健（九州大学大学院医学研究院 保健学科 検査技術科）

酒瀬川信一（国立研究開発法人産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門）

2. POCT 専門委員会

座長：戸枝 義博（筑波メディカルセンター病院診療技術部 臨床検査科）

山下 計太（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

3. 基準範囲共用化専門委員会

座長：石橋みどり（新東京病院 臨床検査室）

小堺 利恵（東北医科薬科大学病院）

4. 栄養専門委員会

座長：松村 聡（千葉科学大学 危機管理学部 保健医療学科）

シンポジウム

1. 糖尿病患者に対する糖代謝異常・脂質代謝異常に関する臨床検査

座長：柳内 秀勝（国立国際医療研究センター国府台病院）

廣渡 祐史（埼玉県立大学保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻）

2. Lp (a) の最新研究

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

小倉 正恒（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

3. 臨床検査におけるピットフォール 事例報告・討論会 2023

座長：三好 雅士（徳島大学病院 医療技術部）

中野 恵一（北海道大学病院 検査・輸血部）

4. 新しい脂質低下薬の創薬ターゲット

座長：三井田 孝（順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学）

小倉 正恒（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

5. 臨床化学検査の再検査について考える

座長：大川龍之介（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野）

岡村 邦彦（NTT 東日本関東病院）

6. TDM シンポジウム（キックオフシンポジウム）

座長：城野 博史（熊本大学病院 薬剤部）

菅野 光俊（福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科）

7. HDL 機能検査の現状と課題

座長：小倉 正恒（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

大川龍之介（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野）

8. 肝疾患におけるバイオマーカー研究

座長：政木 隆博（東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部）

田中 靖人（熊本大学 消化器内科学講座）

9. 古くて新しい動物臨床化学～忘れてはいけないこと、そして未来にむけて～

座長：倉田 昌明（株式会社ボゾリサーチセンター）

養毛 博文（株式会社新日本科学 安全性研究所）

YIA シンポジウム

座長：濱田 悦子（文京学院大学保健医療技術学部 臨床検査学科）

三浦 雅一（北陸大学 薬学部）

学生シンポジウム**セッション1**

座長：阿部 正樹（東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部）

廣渡 祐史（埼玉県立大学保健医療福祉学部 保健開発学科 検査技術科学専攻）

セッション2

座長：下澤 達雄（国際医療福祉大学 大学院臨床医学系 臨床検査 成田病院検査科）

石井 直仁（北里大学 医療衛生学部）

第18回企業シンポジウム**医療の質を支える腸内細菌叢～もう一つの臓器に迫る～**

座長：宮田 満（株式会社宮田総研/株式会社ヘルスケアイノベーション）

岩崎 陽介（シスメックス株式会社 学術本部 学術研究部 学術研究グループ）

臨床化学アカデミー

座長：小谷 和彦（自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門）

山田 俊幸（自治医科大学医学部 臨床検査医学講座）

共催セミナー

ランチョンセミナー 1 (共催：デンカ株式会社)

地域住民における動脈硬化性疾患の疫学研究：久山町研究

座長：小倉 正恒 (順天堂大学医療科学部 臨床検査学科 教授)

演者：二宮 利治 (九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授)

ランチョンセミナー 2 (共催：富士フイルム和光純薬株式会社)

肝癌診療最前線～いかに克服するか～

座長：政木 隆博 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部)

演者：能祖 一裕 (岡山市立市民病院 消化器内科)

ランチョンセミナー 3 (共催：シスメックス株式会社/株式会社理研ジェネシス)

変貌する病理検査と診断—肺癌バイオマーカー検査を例に—

座長：藍 智彦 (順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科 科長代行・
先任准教授)

演者：横瀬 智之 (神奈川県立がんセンター 病理診断科 部長)

ランチョンセミナー 4 (共催：株式会社島津製作所)

LC-MS/MS 分析による血中薬物濃度を活用した精密医療と TDM 対象薬の拡充

演者：三浦 昌朋 (秋田大学大学院医学系研究科 薬物動態学講座)

司会：四方 正光 (株式会社島津製作所 分析計測事業部 ダイアグノスティクス
統括部)

ランチョンセミナー 5 (共催：株式会社カイノス)

敗血症マーカーの特徴と臨床的意義

座長：中川 央充 (慶應義塾大学病院 臨床検査科)

演者：宿屋 敬 (株式会社カイノス)

ランチョンセミナー 6 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル・アフェアーズ本部)

残余リスクとしての Lp (a) 高値を考える

座長：吉田 博 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長/東京慈恵会医科大学
臨床検査医学講座 教授)

演者：小倉 正恒 (順天堂大学医療科学部 臨床検査学科 教授)

ランチョンセミナー 7 (共催：キシダ化学株式会社/JNC 株式会社)

新たなバイオマーカー研究に向けた超高感度エライザ手法の開発

座長：川野 克己 (東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター)

演者：木村 哲也 (東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター)

ランチョンセミナー 8 (共催：アボットジャパン合同会社)

進行卵巣がんに対する手術療法の実際

座長：政木 隆博 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部 診療部長)

演者：高野 浩邦 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科 教授)

ランチョンセミナー 9 (共催：株式会社 日立ハイテク)

新しい精度保証のかたち～反応過程教育の重要性～

座長：大川龍之介 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野)

演者：和田 哲 (和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部)

アフタヌーンセミナー (共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)

国内 LDTs の確立に必要な標準化と精度管理

～質量分析と免疫化学検査/がんゲノム/リンチ症候群を例にして～

座長：前川 真人 (浜松医科大学医学部附属病院 検査部 特命研究教授)

演者：松下 一之 (千葉大学医学部附属病院 検査部・遺伝子診療部 検査部部长・診療教授)

イブニングセミナー (共催：積水メディカル株式会社)

リンパ腫診療と臨床検査～バイオマーカーを中心に～

座長：東田 修二 (国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床検査医学分野)

演者：増田亜希子 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院 臨床検査部)

機器・試薬セミナー

座長：木村 聡 (昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科 (臨床検査))

宮城 博幸 (杏林大学医学部附属病院 臨床検査部)

ERS-1 サンドイッチ法を測定原理に用いた新規試薬(AIA-パック CL[®] hs-E2)について

演者：辻本 呉 (東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部 第一開発部 試薬グループ)

(共催：東ソー株式会社)

ERS-2 血中フェリチン測定の臨床的意義～低値も高値も大切です～

演者：平野 佑樹 (株式会社 LSI メディエンス 診断薬事業本部 学術部)

(共催：株式会社 LSI メディエンス)

ERS-3 プロステートヘルスインデックス (*phi*) 前立腺癌診断のための新たなバイオマーカー

演者：吉岡 奈美 (ベックマン・コールター株式会社 ダイアグノスティックス営業統括本部 営業企画推進統括部 学術クリニカルアプリケーションズ部)

(共催：ベックマン・コールター株式会社)

**ERS-4 便潜血測定装置「OC センサー」関連製品での新たな取り組み
—便中カルプロテクチン試薬/採便容器—**

演者：阿部 雅仁 (栄研化学株式会社 販売推進室)

(共催：栄研化学株式会社)

ERS-5 光センシングによる簡便な好中球活性評価システム

演者：數村 公子 (浜松ホトニクス (株) GSCC・社内ベンチャー 未病の見える化“フォトフィル”)

(共催：浜松ホトニクス株式会社)

ERS-6 COVID-19 後遺症でよく見られる検査所見とこれからの展望

演者：平畑 光一 (ヒラハタクリニック)

(共催：株式会社ビー・エム・エル)

2023 年度 学会賞受賞者一覧

学術賞

氏名：中川 沙織

所属：新潟薬科大学薬学部

研究内容：コレステロール合成・吸収・代謝物の高感度定量法の開発とバイオマーカーなどへの臨床応用

奨励賞

氏名：工藤 海

所属：東海大学医学部基盤診療学系先端医療科学

研究内容：細胞外小胞リン脂質の新たな役割—sPLA2 による加水分解と発揮される機能—

氏名：徳原 康哲

所属：香川県立保健医療大学保健医療学部

研究内容：新規トリプトファン発色法の考案

技術賞

企業名：富士レビオ株式会社

業績内容：尿中プロスタグランジン E2 主要代謝産物 (PGE-MUM) の全自動・化学発光酵素免疫測定用試薬「ルミパルスプレスト PGE-MUM」の開発

論文賞

氏名：高井 雅之

所属：株式会社シノテスト R&D センター

論文名：Establishment of a novel ELISA system for measuring periostin independently of formation of the IgA complex

学会賞協賛企業

アークレイマーケティング株式会社

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

プログラム第1日目 2023年10月27日(金)

<第1会場(2階 sola city Hall WEST)>

プロジェクト報告1

10:30 ~ 11:20

酵素・試薬専門委員会

座長：内海 健（九州大学大学院医学研究院 保健学科 検査技術科）

酒瀬川信一（国立研究開発法人産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門）

PJ1-1 AST・ALT測定におけるIFCC法とJSCC法の挙動の差—プロジェクト中間報告—

○山下 計太¹、河野 正臣²、小堺 利恵³、酒本美由紀⁴、寺田 祥⁵、

三好 雅士⁶、梅森 祥央⁷、石田 秀和⁸、新関 紀康¹、竹林 史織¹

（¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部、²新東京病院 臨床検査室、³東北医科

薬科大学病院 検査部、⁴九州大学病院 検査部、⁵大阪大学医学部附属病院

検査部、⁶徳島大学病院 医療技術部臨床検査技術部門、⁷日本医療大学 保健

医療学部 臨床検査学科、⁸岐阜大学医学部附属病院 検査部）

PJ1-2 免疫学的便潜血検査の標準化プロジェクト報告

○菊池 春人

（済生会横浜市東部病院 臨床検査科）

ランチョンセミナー1

11:35 ~ 12:25

地域住民における動脈硬化性疾患の疫学研究：久山町研究

座長：小倉 正恒（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科 教授）

演者：二宮 利治（九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授）

共催：デンカ株式会社

学術集会長講演

12:35 ~ 13:25

臨床化学の発展に志す課題解決型研究の推進と社会実装へのチャレンジ

座長：三井田 孝（順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学）

演者：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

教育講演1

13:30 ~ 14:20

腎臓再生医療の臨床実装に向けた障壁と克服

座長：山田 俊幸（自治医科大学医学部 臨床検査医学講座）

演者：横尾 隆（東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科）

シンポジウム 1

14:30 ~ 16:30

糖尿病患者に対する糖代謝異常・脂質代謝異常に関する臨床検査

座長：柳内 秀勝（国立国際医療研究センター国府台病院）

廣渡 祐史（埼玉県立大学保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻）

S1-1 CGMを活用した糖尿病診療のニューノーマル

○高橋 紘

（東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科）

S1-2 HbA1c 検査測定の温故知新

○眞仁田大輔

（東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部 開発部）

S1-3 リポ蛋白分画—イオン交換クロマトグラフィーによるリポ蛋白分離分析—

○廣渡 祐史

（埼玉県立大学保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻）

S1-4 糖尿病で気を付けるべき脂質異常—Small dense LDL-C

○伊藤 康樹

（デンカ株式会社 ライフイノベーション部門 臨床試薬開発部）

S1-5 食後高脂血症—病態・診断・その動脈硬化惹起性

○柳内 秀勝

（国立国際医療研究センター国府台病院）

特別講演 1

16:40 ~ 17:40

医療の質を支える臨床化学の発展と社会実装

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

演者：矢富 裕（国際医療福祉大学 大学院）

< 第2会場（2階 sola city Hall EAST） >

プロジェクト報告 2

11:00 ~ 11:30

POCT 専門委員会

座長：戸枝 義博（筑波メディカルセンター病院診療技術部 臨床検査科）

山下 計太（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

PJ2 POCTの検体測定値の妥当性チェック案—プロジェクト中間報告—

○山下 計太^{1,7}, 戸枝 義博^{2,7}, 滝野 豊^{3,7}, 石田 秀和^{4,7},山崎 浩樹^{5,7}, 三宅 雅文^{6,7}, 齋藤 翠^{7,8}, 白井 秀明⁷, 桑 克彦^{7,9}

（¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部, ²筑波メディカルセンター病院 診療技術部 臨床検査科, ³北陸大学 医療保健学部 医療技術学科, ⁴岐阜大学医学部附属病院 検査部, ⁵株式会社シルクリ技研, ⁶株式会社日立ハイテク, ⁷日本臨床化学会POCT専門委員会, ⁸藤田医科大学病院 臨床検査部, ⁹一般社団法人 臨床検査基準測定機構）

ランチセミナー 2

11:35 ~ 12:25

肝癌診療最前線～いかに克服するか～

座長：政木 隆博（東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部）

演者：能祖 一裕（岡山市立市民病院 消化器内科）

共催：富士フィルム和光純薬株式会社

一般演題（口演） 1

13:30 ~ 14:30

脂質 1

座長：恵 淑萍（北海道大学 大学院保健科学研究院）

蔵野 信（東京大学大学院 医学系研究科）

O1-1 脂肪組織リパーゼのトリグリセライド水解反応における基質中脂肪酸の種類別比較

○村野 武義¹, 原田 美緒¹, 石原 典子¹
（東邦大学理学部 臨床検査技師課程）

O1-2 血清アミロイド A 修飾低比重リポタンパク（SAA-LDL）における抗酸化能の解析

○亀田 貴寛^{1,3}, 加柴 美里², 川口 莉奈³, 大川龍之介³
（¹帝京大学医療技術学部 臨床検査学科, ²東京工科大学 教養学環/応用生物学部, ³東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野）

O1-3 赤血球コレステロール含有量直接測定法の評価およびヘモグロビン濃度による補正の検討

○山崎あずさ^{1,2}, 渡部 芽以², 市村 直也², 東田 修二², 大川龍之介¹
（¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野, ²東京医科歯科大学病院 検査部）

O1-4 閉塞性睡眠時無呼吸症候群におけるオロソムコイド 1 と HDL 機能に関する検討

○遠藤 康弘^{1,2}, 佐々木 誠², 末永由美子², 綾織 誠人⁵, 中山 秀章⁴, 井上 雄一³, 池脇 克則²
（¹防衛医科大学校 防衛医学研究センター 特殊環境衛生研究部門, ²防衛医科大学校 神経・抗加齢血管内科, ³睡眠総合ケアクリニック代々木, ⁴東京医科大学 睡眠学講座, ⁵所沢ハートセンター）

O1-5 血液透析患者におけるカルニチン欠乏とエリスロポエチン抵抗性の関係

○木戸口周平¹, 岩村菜々美¹, 鳥居 国雄¹, 山野 智子¹, 松田 航平¹, 宮崎 良一², 重松 陽介³, 岩野 正之⁴, 木村 秀樹¹
（¹福井大学医学部附属病院 検査部, ²藤田記念病院 内科, ³福井大学医学部附属病院 小児科, ⁴福井大学医学部附属病院 腎臓内科）

O1-6 LipoSEARCH システムを用いた HDL サブクラスのアポリポタンパクの分布の解析

- 波木井優奈¹, 山崎あずさ¹, 川口 莉奈¹, 吉本 明¹, 亀田 貴寛^{1,2}, 高橋純一郎³, 岡崎 三代⁴, 横山 信治⁵, 藍 真澄⁶, 大川龍之介¹
 (¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野, ²帝京大学 医療技術学部, ³株式会社免疫生物研究所, ⁴東京医科歯科大学, ⁵中部大学 応用生物学部, ⁶東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 保険医療管理学)

YIA シンポジウム

14:35 ~ 16:35

座長：濱田 悦子（文京学院大学保健医療技術学部 臨床検査学科）
 三浦 雅一（北陸大学 薬学部）

YIA-1 LDL 添加による肝ミトコンドリア呼吸機能の変化は酸化により悪化する

- 佐崎 生¹, 櫻井 俊宏¹, 千葉 仁志², 恵 淑萍¹
 (¹北海道大学 大学院保健科学研究院, ²札幌保健医療大学)

YIA-2 インターロイキン 6 の早期炎症マーカーとしての有用性の検討

- 西原 ゆり¹, 佐々木克幸¹, 西川 純子¹, 佐藤 郁美¹, 羽島 房子¹, 武田 卓也¹, 阿部 裕子¹, 藤巻 慎一¹, 藤原 亨², 張替 秀郎^{2,3}
 (¹東北大学病院診療技術部 検査部門, ²東北大学病院 検査部, ³東北大学大学院医学系研究科 血液内科学分野)

YIA-3 尿中クレアチニン測定に及ぼす薬剤の影響の検討

- 吉本 明^{1,2}, 森田 賢史², 久米 幸夫², 吉川 直之², 小野 佳一², 大川龍之介¹, 蔵野 信², 矢富 裕^{2,3}
 (¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野, ²東京大学医学部附属病院 検査部, ³国際医療福祉大学大学院)

YIA-4 搾乳母乳と新生児口腔細菌叢との関連：網羅的・分子生物学的アプローチ

- 涌井 杏奈^{1,2}, 河内 美帆², 佐藤 拓一²
 (¹新潟医療福祉大学医療技術学部 臨床技術学科, ²新潟大学 大学院保健学研究科 臨床化学研究室)

YIA-5 反応過程近似解析ツール「MiRuDa」の活用に関する検討—リアルタイムで測定値の信頼性を担保する—

- 竹林 史織¹, 山下 計太¹, 井口 晃弘², 前川 真人³
 (¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部, ²株式会社日立ハイテク 医用アプリケーション開発部, ³浜松医科大学医学部)

YIA-6 自然毒成分 α -アマニチンの各種検出法の性能評価

- 松尾 佳乃¹, 岡田 光貴²
 (¹京都橘大学大学院 健康科学研究科, ²京都橘大学健康科学部 臨床検査学科)

YIA-7 ALP 測定法の IFCC 法移行による疾患と関連しない ALP 高値化に対する効果の評価

○川野 伶緒¹, 加藤 公則², 和田 高士³

(¹国立長寿医療研究センター 品質管理・情報解析部, ²新潟大学大学院医歯学総合研究科 生活習慣病予防・健診医学講座, ³東京慈恵会医科大学)

YIA-8 中枢神経系原発悪性リンパ腫における髄液中 β 2-マイクログロブリン測定と意義

○溝渕あかね¹, 菅野 和久², 高野須広道¹, 金並 真吾¹, 松本 雄貴¹, 藤田英里加¹, 大石 瑞季¹, 高須賀康宣¹, 井上 明宏³, 大澤 春彦¹

(¹愛媛大学医学部附属病院 検査部, ²千葉科学大学危機管理学部 保健医療学科, ³愛媛大学医学部附属病院 脳神経外科)

YIA-9 ミトコンドリア翻訳阻害は Pyk2-Gsk3 β -Srebp2 経路を介して神経脱髄を呈する

○十島 崇嘉¹, 八木美佳子², 堀田多恵子¹, 康 東天^{1,2}, 内海 健^{1,2}

(¹九州大学病院 検査部, ²九州大学大学院医学研究院 臨床検査医学分野)

<第3会場 (1階 Room C) >

プロジェクト報告3

10:30 ~ 11:00

基準範囲共用化専門委員会

座長：石橋みどり (新東京病院 臨床検査室)

小堺 利恵 (東北医科薬科大学病院)

PJ3 基準範囲共用化専門委員会報告～臨床判断値と共用基準範囲～

○堀田多恵子¹, 清水 慶久², 小堺 利恵³, 山下 計太⁴, 白井 哲也⁵, 酒本美由紀¹

(¹九州大学病院 検査部, ²北陸大学医療保健学部 医療技術学科, ³東北医科薬科大学病院, ⁴浜松医科大学附属病院 検査部, ⁵長崎大学病院 検査部)

ランチョンセミナー3

11:35 ~ 12:25

変貌する病理検査と診断—肺癌バイオマーカー検査を例に—

座長：藍 智彦 (順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科 科長代行・先任准教授)

演者：横瀬 智之 (神奈川県立がんセンター 病理診断科 部長)

共催：シスメックス株式会社/株式会社理研ジェネシス

一般演題（口演）2

13:30 ~ 14:20

病態解析/検査診断 1

座長：後藤 和人（東海大学医学部 基盤診療学系 臨床検査学）

村上 正巳（群馬大学大学院医学系研究科 臨床検査医学）

O2-1 マクロファージにおけるプレセプシン産生機序解明に関する検討

○溝越^{みぞこし} 祐志^{ゆうじ}^{1,2}, 鈴木 高史^{1,2}, 澤村 暢^{1,2}（¹神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科, ²神戸常盤大学 ライフサイエンスセンター）

O2-2 COVID-19 を起因とした非典型溶血性尿毒症症候群（aHUS）で補体関連遺伝子 C3 p.Ile1157Thr を認めた 1 例

○池尻^{いけじり} 誠^{まこと}, 森本 誠, 田辺 正樹

（三重大学医学部附属病院 検査部）

O2-3 近位尿細管において脂肪酸結合アルブミン負荷は細胞老化を促進する

○黒崎^{くろさき} 祥史^{よしふみ}¹, 成田 実央¹, Rikke Nielsen², Kathrin Weyer², 井本 明美¹, 佐藤 直和¹, Geraldine Mollet³, 鈴木 英明⁴, 横場 正典⁵, 竹中 恒夫⁶, 市川 尊文¹, 石井 直仁¹（¹北里大学大学院医療系研究科, ²Aarhus University, Department of Biomedicine, Denmark, ³Inserm U1163, Imagine Institute, Universite de Paris, France, ⁴福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科, ⁵北里大学医療衛生学部 臨床生理学研究室, ⁶国際医療福祉大学医学部 腎臓内科）

O2-4 HK-2 細胞においてエクソソームを介した mtDNA 排出はグルコースとアルブミン負荷により抑制される

○井本 明美^{1,2}, 黒崎 祥史^{1,2}, 佐藤 直和², 成田 実央², 鈴木 英明³, 竹中 恒夫⁴, 石井 直仁^{1,2}（¹北里大学医療衛生学部, ²北里大学大学院 医療系研究科, ³福島県立医科大学保健科学部, ⁴国際医療福祉大学医学部 腎臓内科）

O2-5 キノリン酸ホスホリボシルトランスフェラーゼによる細胞老化の調節

○高尾^{たかお} 明日香^{あすか}, 藤垣 英嗣, 都築 輝, 杉浦 彩香, 生野 彰宏, 山本 康子, 齋藤 邦明

（藤田医科大学大学院 保健学研究科）

シンポジウム 2

14:30 ~ 16:30

Lp (a) の最新研究

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

小倉 正恒（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

S2-1 Lp (a) とは？

○吉田^{よしだ} 博^{ひろ}

（東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部）

S2-2 Lp (a) と動脈硬化性疾患

○舟橋紗耶華^{1,2}, 片岡 有², 堀 美香^{3,4}, 小倉 正恒^{2,5}, 土井 貴仁², 野口 暉夫², 斯波真理子^{3,6}

(¹杏林大学医学部 循環器内科, ²国立循環器病研究センター 心臓血管内科, ³国立循環器病研究センター 研究所 病態代謝部, ⁴名古屋大学 環境医学研究所 内分泌代謝分野, ⁵順天堂大学医療科学部 臨床検査学科, ⁶大阪医科大学 循環器センター)

S2-3 Lp (a) の遺伝学と治療薬の開発状況

○多田 隼人

(金沢大学附属病院 循環器内科)

S2-4 Lp (a) 検査の国際標準化へのロードマップ

○三井田 孝^{1,2}

(¹順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学, ²順天堂大学医療科学部 臨床検査学科)

< 第 4 会場 (1 階 Room B) >

プロジェクト報告 4

10:30 ~ 11:00

栄養専門委員会

座長：松村 聡 (千葉科学大学 危機管理学部 保健医療学科)

PJ4 妊婦におけるレチノールならびに関連項目を用いた栄養状態のエピジェネティクス研究

○松木 友里¹, 涓原 博², 前川 真人³, 西村 基⁴, 木内 幸子², 野村 文夫^{4,5}, 橋詰 直孝⁶, 伊藤 展枝⁷, 松村 聡²

(¹ニッターボーメディカル株式会社 学術部, ²千葉科学大学 危機管理学部, ³浜松医科大学医学部 医学科 臨床検査医学, ⁴千葉大学医学部附属病院 検査部・遺伝子診療部, ⁵公益財団法人 ちば県民保健予防財団, ⁶株式会社ケイ・エス・オー, ⁷東邦大学理学部 臨床検査技師課程)

一般演題 (口演) 3

13:30 ~ 14:20

機器・試薬 1

座長：松下 一之 (千葉大学医学部附属病院)

佐藤 亮 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部)

O3-1 化学発光酵素免疫測定法を用いた脳脊髄液中の β -アミロイド、タウ測定試薬の評価

○野島 久, 青柳 克己

(富士レビオ株式会社 研究開発本部)

O3-2 TBA-FX8 における反応波形異常検知検出ツールの開発 (第3報)

○佐々木克幸¹, 後藤 好恵¹, 小原 保彦¹, 畠山百合子¹, 蔵野 智昭²,
上野 岳², 阿部 裕子¹, 藤巻 慎一¹, 加藤 浩貴^{3,4}, 亀井 尚^{3,5}
(¹東北大学病院診療技術部 臨床検査部門, ²キヤノンメディカルシステムズ株
式会社, ³東北大学病院 検査部, ⁴東北大学大学院医学系研究科 血液内科学
分野, ⁵東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野)

O3-3 TBA-FX8 における反応波形異常検知検出ツールの開発 (第4報)

○後藤 好恵¹, 佐々木克幸¹, 小原 保彦¹, 畠山百合子¹, 蔵野 智昭²,
上野 岳², 阿部 裕子¹, 藤巻 慎一¹, 加藤 浩貴^{3,4}, 亀井 尚^{3,5}
(¹東北大学病院診療技術部 臨床検査部門, ²キヤノンメディカルシステムズ株
式会社, ³東北大学病院 検査部, ⁴東北大学大学院医学系研究科 血液内科学
分野, ⁵東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野)

O3-4 ラテックス免疫比濁法を用いた新規 SP-D 測定試薬「ナノピア SP-D」の基礎性能評価試験

○平井 那知¹, 小澤 梓¹, 野崎 沙織², 岩崎 真波², 新関 紀康¹,
山下 計太¹, 前川 真人³
(¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部, ²積水メディカル株式会社, ³浜松医科
大学医学部)

O3-5 AIA-CL2400 を用いたヒト成長ホルモン、ソマトメジン C 測定試薬の検討

○中田 瞳美¹, 阿部 正樹¹, 俵木 美幸¹, 小笠原洋治¹
(東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部)

シンポジウム 3

14:30 ~ 16:30

臨床検査におけるピットフォール 事例報告・討論会 2023

座長：三好 雅士 (徳島大学病院 医療技術部)

中野 恵一 (北海道大学病院 検査・輸血部)

S3-1 ピットフォール研究専門委員会活動報告

○三好 雅士¹
(徳島大学病院医療技術部 臨床検査技術部門)

S3-2 生化学自動分析装置における血清情報の算出方法

○小島 和茂¹
(日本電子株式会社 医用機器事業部 ME技術本部 応用研究グループ)

S3-3 光線力学的療法用剤レザフィリンによる自動分析装置血清情報混濁度の偽陽性

○宮本 博康¹
(東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部)

S3-4 反応タイムコースの異常により ALT が測定不可となった症例について

○井上 悦子¹, 澁谷 仁美¹, 井上 英昭¹
(医療法人社団日本鋼管福山病院 臨床検査科)

S3-5 ピットフォール相談窓口と解析マニュアルの紹介

○中野^{なかの} 恵一^{けいいち}

(北海道大学病院 検査・輸血部)

アフタヌーンセミナー

16:55 ~ 17:45

国内 LDTs の確立に必要な標準化と精度管理

～質量分析と免疫化学検査/がんゲノム/リンチ症候群を例にして～

座長：前川 真人 (浜松医科大学医学部附属病院 検査部 特命研究教授)

演者：松下^{まつした} 一之^{かずゆき} (千葉大学医学部附属病院 検査部・遺伝子診療部 検査部部长・診療教授)

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

プログラム第2日目 2023年10月28日(土)

<第1会場(2階 sola city Hall WEST)>

評議員会

8:30 ~ 9:20

第
2
日
目

教育講演2

9:30 ~ 10:20

Liquid chromatography tandem mass spectrometry (LC-MS/MS) を用いた ビタミンD精密定量とその課題

座長：橋口 照人 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野/鹿児島
大学病院 検査部)

演者：越智 小枝 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)

JSCC 国際企画セミナー

10:30 ~ 11:20

The Use of the Adaptive Learning Concept in Laboratory Medicine.

座長：坂本 秀生 (神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科)

演者：Nader Rifai (Departments of Laboratory Medicine and Pathology, Boston Children's
Hospital and Harvard Medical School, Boston, MA, USA)

ランチョンセミナー4

11:45 ~ 12:35

LC-MS/MS 分析による血中薬物濃度を活用した精密医療と TDM 対象薬の拡充

演者：三浦 昌朋 (秋田大学大学院医学系研究科 薬物動態学講座)

司会：四方 正光 (株式会社島津製作所 分析計測事業部 ダイアグノスティクス統括部)

共催：株式会社島津製作所

一般演題(口演)4

12:45 ~ 13:35

病態解析/検査診断2

座長：涌井 昌俊 (慶應義塾大学医学部 臨床検査医学)

柳原 克紀 (長崎大学病院 検査部)

O4-1 尿中非硫酸化 HNK-1 糖鎖の腎疾患マーカーとしての有用性に関する検討

○森瀬 譲二, 飯倉七奈子, 岡 昌吾

(京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻)

O4-2 末梢血におけるミトコンドリア DNA コピー数と将来の死亡リスクとの関連性

○水野 元貴¹, 山田 宏哉², 坪井 良樹³, 宗網 栄二⁴, 山崎 未来⁵,
安藤 嘉崇⁶, 石川 浩章⁶, 大橋 鋳二⁶, 鈴木 康司³

(¹東京工科大学医療保健学部 臨床検査学科, ²藤田医科大学医学部 衛生学,
³藤田医科大学医療科学部 予防医学分野, ⁴麻布大学獣医学部 動物応用科
学科, ⁵香川県立保健医療大学保健医療学部 臨床検査学科, ⁶藤田医科大学医
療科学部 病態情報解析学分野)

O4-3 オートタキシンによる造血幹細胞移植後の肝類洞閉塞症候群早期診断の可能性

○武村 和哉^{1,2}, 中前 美佳^{1,2,3}, 岡村 浩史^{2,3}, 酒徳 一希³,
井戸健太郎^{1,2,3}, 幕内 陽介³, 久野 雅智³, 高桑 輝人³, 廣瀬 朝生³,
西本 光孝³, 中嶋 康博³, 康 秀男^{3,4}, 五十嵐浩二⁵, 久保田 浩¹,
日野 雅之^{1,2,3}, 中前 博久^{1,3}

(¹大阪公立大学医学部附属病院 中央臨床検査部, ²大阪公立大学大学院医学研
究科 臨床検査・医療情報医学, ³大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍
制御学, ⁴大阪公立大学大学院医学研究科 産業医学, ⁵東ソー株式会社 バイ
オサイエンス事業部)

O4-4 腎症発症前糖尿病ラットのミトコンドリア品質管理メカニズムと脂肪酸・カルニチンの動態について

○石井 直仁^{1,2}, 黒崎 祥史^{1,2}, 井本 明美^{1,2}, 佐藤 直和², 成田 実央²,
土筆 智晶³, 鈴木 英明⁴, 菅生 太郎⁵, 横場 正典^{1,2}, 市川 尊文^{1,2},
竹中 恒夫⁶, 片桐 真人¹

(¹北里大学医療衛生学部, ²北里大学大学院医療系研究科, ³北里大学病院 臨床
検査部, ⁴福島県立医科大学 保健科学部, ⁵せいはいかいメディカルクリニック,
⁶国際医療福祉大学医学部 腎臓内科学)

O4-5 トリプトファンキヌレン代謝経路の変動に起因する認知機能障害モデルマウスの作製

○杉浦 彩香¹, 藤垣 英嗣¹, 高尾明日香¹, 國澤 和生¹, 毛利 彰宏¹,
山本 康子¹, 鍋島 俊隆^{1,2}, 齋藤 邦明^{1,2}

(¹藤田医科大学大学院 保健学研究科, ²藤田医科大学 健康医科学創造共同研
究部門)

総会

13:50 ~ 14:30

特別講演 2

14:40 ~ 15:40

睡眠の謎に挑む：『眠気』の実体を求めて

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

演者：柳沢 正史（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIIS））

受賞講演

15:50 ~ 16:50

座長：恵 淑萍（北海道大学 大学院保健科学研究院）
 山下 計太（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

学術賞 コレステロール合成・吸収・代謝物の高感度定量法の開発とバイオマーカー
 などへの臨床応用

○中川 沙織
 （新潟薬科大学医療技術学部 臨床検査学科 臨床分析化学研究室）

技術賞 尿中プロスタグランジン E2 主要代謝産物の全自動免疫測定用試薬“ルミパ
 ルスプレスト PGE-MUM”の開発

○高木 潤
 （富士レビオ株式会社 研究開発本部）

教育講演 3

17:00 ~ 17:50

固形癌におけるがんゲノム医療の現状と展望—SCRUM-Japan の成果から紐解く

座長：前川 真人（浜松医科大学医学部）

演者：吉野 孝之（国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部門）

< 第 2 会場（2 階 sola city Hall EAST） >

シンポジウム 4

9:30 ~ 11:30

新しい脂質低下薬の創薬ターゲット

座長：三井田 孝（順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学）

小倉 正恒（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

S4-1 高カイロミクロン血症に対するアポリポタンパク C3 阻害薬

○和田 郁人
 （リードファーマ株式会社）

S4-2 脂質異常症に対する ANGPTL3 阻害薬

○岡崎 啓明
 （自治医科大学医学部 内科学講座 内分泌代謝学部門）

S4-3 高 LDL-C 血症患者に対するアデノシン 3 リン酸クエン酸リアーゼ阻害薬

○石井伊都子
 （千葉大学医学部附属病院 薬剤部）

S4-4 脂質異常症を合併するライソゾーム病に対する酵素補充療法

○小倉 正恒
 （順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

ランチオンセミナー 5

11:45 ~ 12:35

敗血症マーカーの特徴と臨床的意義

座長：中川 央充（慶應義塾大学病院 臨床検査科）

演者：宿屋 敬（株式会社カイノス）

共催：株式会社カイノス

一般演題（口演）5

12:45 ~ 13:45

脂質 2

座長：木村 秀樹（福井大学医学部附属病院 検査部）

稲津 明広（金沢大学 医薬保健研究域 保健学系）

O5-1 2型糖尿病における血中オキシステロール濃度測定と臨床意義の検討

○甲斐 敬人¹, 平山 哲^{1,2}, 相良利栄子¹, 宗田 聡³, 中川 沙織⁴,
上野 剛¹, 福島 理文¹, 三井田 孝^{1,5}（¹順天堂大学医学部 臨床検査医学, ²東京学芸大学 大学教育研究基盤センター機構 保健管理センター, ³新潟市民病院 内分泌・代謝内科, ⁴新潟薬科大学医療技術学部 臨床分析化学, ⁵順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

O5-2 A study on effect of ethanol on gut lipid metabolism.

○Jayashankar Jayaprakash¹, Siddabasave Gowda Bomme Gowda^{1,2},
Divyavani Gowda², Hitoshi Chiba³, Shu-Ping Hui²（¹Graduate School of Global Food Resources, Hokkaido University, Sapporo, Japan, ²Faculty of Health Science, Hokkaido University, Sapporo, Japan, ³Department of Nutrition, Sapporo University of Health Sciences, Sapporo, Japan）

O5-3 Determination of plasma short-chain fatty acids in healthy children by LC-MS/MS

○李 泳翰¹, Siddabasave Gowda Bomme Gowda¹, Divyavani Gowda¹,
池田 敦子^{1,2}, Rahel Mesfin Ketema^{1,2}, 千葉 仁志³, 恵 淑萍¹（¹北海道大学 大学院保健科学研究院, ²北海道大学 環境健康科学研究教育センター, ³札幌保健医療大学 栄養学科）

O5-4 学童の血中リゾホスファチジルエタノールアミン濃度と肥満との関連

○井上 夏緒¹, Siddabasave Gowda Bomme Gowda¹, Divyavani Gowda¹,
櫻井 俊宏¹, Rahel Mesfin Ketema^{1,2}, 池田 敦子^{1,2}, 千葉 仁志³,
恵 淑萍¹（¹北海道大学大学院 保健科学研究院, ²北海道大学 環境健康科学研究教育センター, ³札幌保健医療大学）

O5-5 HDL コレステロール引き抜き能と運動・骨格筋の関連についての検討

○佐々木 慧^{1,2}, 小松 知広¹, 阿部 智美¹, 中島志穂子¹, 山本 泰暉¹,
上原 吉就¹（¹福岡大学スポーツ科学部, ²自衛隊福岡病院）

O5-6 Exploring Herbal Lipid Profiles with Advanced UHPLC/MS

○Lipsa Rani Nath¹, Siddabasave Gowda Bomme Gowda^{1,2},
Divyavani Gowda², Shu-Ping Hui², Hitoshi Chiba³
(¹Hokkaido University Graduate School of Global Food Resources, ²Hokkaido
University, Faculty of Health Sciences, ³Sapporo University of Health Sci-
ences, Department of Nutrition)

機器・試薬セミナー

15:50 ~ 17:20

座長：木村 聡（昭和大学横浜市北部病院 臨床病理診断科（臨床検査））
宮城 博幸（杏林大学医学部附属病院 臨床検査部）

ERS-1 サンドイッチ法を測定原理に用いた新規試薬(AIA-パック CL[®] hs-E2) について

○辻本 眞
(東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部 第一開発部 試薬グループ)

共催：東ソー株式会社

ERS-2 血中フェリチン測定の臨床的意義～低値も高値も大切です～

○平野 佑樹
(株式会社LSIメディエンス 診断薬事業本部 学術部)

共催：株式会社 LSI メディエンス

ERS-3 プロステートヘルスインデックス (phi) 前立腺癌診断のための新たなバイオマーカー

○吉岡 奈美
(ベックマン・コールター株式会社 ダイアグノスティックス営業統括本部
営業企画推進統括部 学術クリニカルアプリケーションズ部)

共催：ベックマン・コールター株式会社

ERS-4 便潜血測定装置「OC センサー」関連製品での新たな取り組み
—便中カルプロテクチン試薬/採便容器—

○阿部 雅仁
(栄研化学株式会社 販売推進室)

共催：栄研化学株式会社

ERS-5 光センシングによる簡便な好中球活性評価システム

○敷村 公子
(浜松ホトニクス(株)GSCC・社内ベンチャー 未病の見える化“フォトフィル”)

共催：浜松ホトニクス株式会社

ERS-6 COVID-19 後遺症でよく見られる検査所見とこれからの展望

○平畑 光一
(ヒラハタクリニック)

共催：株式会社ビー・エム・エル

<第3会場 (1階 Room C) >

学生シンポジウム

9:30 ~ 10:30

セッション1

座長：阿部 正樹 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 中央検査部)

廣渡 祐史 (埼玉県立大学保健医療福祉学部 保健開発学科 検査技術科学専攻)

SS1-1 赤血球コレステロール代謝の解析モデルとして使用する赤芽球系細胞の脂質輸送タンパク解析

○清水 梨帆¹, 山崎あずさ¹, 川口 莉奈¹, 鈴木 喜晴¹, 大川龍之介¹

(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野)

SS1-2 血清中アポリポタンパク複合体 apoA-I/apoA-II ヘテロダイマー測定法の改良と性能評価

○孫 成満¹, 亀田 貴寛¹, 大川龍之介¹

(東京医科歯科大学医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学)

SS1-3 LRP1 を介した apoE 含有リポ蛋白代謝における apoE-Cys 基のレドックス修飾の影響

○松浦 弘人¹, 赤羽 匠吾¹, 石嶺 南生², 山内 一由¹

(1信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 病因・病態検査学領域, 2信州大学医学部附属病院 臨床検査部)

SS1-4 脂肪肝モデル細胞における 12-EPAHSA のミトコンドリア形態への影響

○竹下 花¹, 櫻井 俊宏¹, ポメゴウダシッダバサーブゴウダ¹,千葉 仁志², 恵 淑萍¹

(北海道大学大学院 保健科学研究院, 3札幌保健医療大学)

SS1-5 近位尿管においてアラキドン酸結合アルブミンは HIF-1 α 活性化を介して細胞増殖・細胞老化を誘導する○成田 実央¹, 黒崎 祥史¹, 井本 明美¹, 佐藤 直和¹, 竹中 恒夫²,横場 正典³, 市川 尊文¹, 石井 直仁¹

(1北里大学大学院 医療系研究科, 2国際医療福祉大学医学部 腎臓内科, 3北里大学医療衛生学部 臨床生理学)

学生シンポジウム

10:30 ~ 11:30

セッション2

座長：下澤 達雄 (国際医療福祉大学 大学院臨床医学系 臨床検査 成田病院検査科)

石井 直仁 (北里大学 医療衛生学部)

SS2-1 BCP 改良法との乖離を低減する 2点校正 BCG 法の考案

○巖崎 達矢¹, 中島 一樹², 廣渡 祐史¹, 松下 誠³

(1埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科, 2東京大学医学部附属病院 輸血部, 3群馬パース大学 医療技術学部)

SS2-2 血中アミノ酸バランスを用いたメタボリックメモリーの推算に関する検討

- 倉本 佳奈¹, 鬼木健太郎¹, 佐藤 崇雄², 猿渡 淳二¹
 (熊本大学大学院生命科学研究部 薬物治療学分野, ²熊本県産業技術センター)

SS2-3 暦年的なデータベースを用いた機械学習による高血圧予備群の予測

- 水谷 宗慈, 山本 康子, 竹村 正男, 藤垣 英嗣, 齋藤 邦明
 (藤田医科大学大学院 保健学研究科)

SS2-4 CYLD 発現を指標とした標準療法不応口腔癌患者への新規治療戦略の開発

- 米丸 興¹, 末永 尚輝^{1,4}, 吉田晋太郎^{2,5}, 森 祥輝¹, 勝目 泰植²,
 松山 果穂², 新垣ひとみ¹, 安東 実咲², 大田 雅子², 齋藤 秀之^{1,3},
 城野 博史^{1,3}
 (熊本大学大学院 臨床薬物動態学分野, ²熊本大学薬学部 臨床薬物動態学分
 野, ³熊本大学病院 薬剤部, ⁴鹿児島厚生連病院 薬剤部, ⁵海浜総合薬局)

SS2-5 一卵性双生児を対象とした免疫グロブリン値の変動に影響するエピゲノム因子の探索

- 北村 夏樹¹, 橋本日向子¹, 加藤 志歩¹, 森 早穂¹, 吉岡 咲紀¹,
 川上 莉歩¹, 荒川 裕也^{1,2}, 大阪ツインリサーチグループ², 渡邊 幹夫^{1,2}
 (大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座, ²大阪
 大学大学院 医学系研究科附属 ツインリサーチセンター)

ランチオンセミナー 6

11:45 ~ 12:35

残余リスクとしてのLp (a) 高値を考える

座長：吉田 博 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長/東京慈恵会医科大学 臨床検査
 医学講座 教授)

演者：小倉 正恒 (順天堂大学医療科学部 臨床検査学科 教授)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル・アフェアーズ本部

一般演題 (口演) 6

12:45 ~ 13:25

ゲノムと遺伝子情報/分子病理学

座長：中山 智祥 (日本大学医学部 病態病理学系臨床検査医学分野)

末岡榮三朗 (佐賀大学医学部 臨床検査医学講座)

O6-1 乳癌における DSS1、PCID2 発現と抗がん剤感受性の解析

- 酒井 康弘, 伊藤 弘康
 (藤田医科大学医学部 臨床検査科)

O6-2 自己免疫性甲状腺疾患の病態予後とビタミン A 関連遺伝子における遺伝子多型との関連

- 井上 直哉^{1,2}, 岩谷 良則², 日高 洋³, 渡邊 幹夫²
 (大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門, ²大阪大学大学院医学系研究
 科 保健学専攻 生体病態情報科学講座, ³大阪大学医学部附属病院 臨床検
 査部)

O6-3 大腸癌患者における網羅的 Microsatellite Instability 解析および hot spot 領域の遺伝子変異との関連性

- 成瀬 有純¹, 菊池 有純¹, 野中 健一²
(¹社会医療法人大雄会 医科学研究所, ²総合大雄会病院 消化器外科)

O6-4 SGLT2 阻害薬の体重減少効果に対する肥満関連遺伝子多型の影響

- 松尾 萌花¹, 鬼木健太郎¹, 陣内 秀昭², 猿渡 淳二¹
(¹熊本大学大学院生命科学研究部 薬物治療学分野, ²医療法人社団陣内会陣内病院)

第 18 回企業シンポジウム

15:50 ~ 18:20

医療の質を支える腸内細菌叢～もう一つの臓器に迫る～

- 座長：宮田 満 (株式会社宮田総研/株式会社ヘルスケアイノベーション)
岩崎 陽介 (シスメックス株式会社 学術本部 学術研究部 学術研究グループ)

CS-1 肥満を悪化させる腸内細菌とそれに感染するバクテリオファージ

- 亀山 恵司^{1,2}
(¹味の素株式会社 生産統括センター 企画管理部 菌株管理グループ, ²味の素株式会社 食品研究所 健康価値開発センター 健康素材開発グループ)

CS-2 腸内環境層別化による新たな医療・ヘルスケア

- 福田 真嗣^{1,2,3,4,5}
(¹慶應義塾大学 先端生命科学研究所, ²順天堂大学大学院 医学研究科, ³神奈川県立産業技術総合研究所, ⁴筑波大学 トランスボーダー医学研究センター, ⁵株式会社メタジェン)

CS-3 腸内細菌のメタゲノム解析を基盤とした疾患診断法と新規治療法の開発

- 植松 智^{1,2}
(¹大阪公立大学医学部 ゲノム免疫学, ²東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野)

< 第 4 会場 (1 階 Room B) >

シンポジウム 5

9:30 ~ 11:30

臨床化学検査の再検査について考える

- 座長：大川龍之介 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野)
岡村 邦彦 (NTT 東日本関東病院)

S5-1 臨床化学検査の再検査について考える～日常業務で結果確認の手法としての再検査の考え方と方法～

- 宮本 博康¹, 関田 綱基², 中川 央充³, 吉川 直之⁴
(¹東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部, ²がん研究会有明病院 臨床検査センター, ³慶應義塾大学病院 臨床検査科, ⁴東京大学医学部附属病院 検査部)

S5-2 患者データチェック機構に基づく品質管理体制の役割

- 吉川 直之¹、関田 綱基²、中川 央充³、宮本 博康⁴
 (1)東京大学医学部附属病院 検査部, (2)がん研究会有明病院 臨床検査センター, (3)慶應義塾大学病院 臨床検査科, (4)東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部)

S5-3 2つの視点から考える再検査の役割

- 中川 央充¹、関田 綱基²、宮本 博康³、吉川 直之⁴
 (1)慶應義塾大学病院 臨床検査科, (2)がん研究会有明病院 臨床検査センター, (3)東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部, (4)東京大学医学部附属病院 検査部)

S5-4 再検査の役割と工夫について

- 関田 綱基¹、中川 央充²、宮本 博康³、吉川 直之⁴
 (1)がん研究会有明病院 臨床検査センター, (2)慶應義塾大学病院 臨床検査科, (3)東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部, (4)東京大学医学部附属病院 検査部)

ランチオンセミナー7**11:45 ~ 12:35****新たなバイオマーカー研究に向けた超高感度エライザ手法の開発**

座長：川野 克己（東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター）

演者：○木村 哲也¹、小山 幸一²、大西 徳幸³、川野 克己¹

(1)東京都健康長寿医療センター 認知症未来社会創造センター, (2)キシダ化学株式会社, (3)JNC株式会社)

共催：キシダ化学株式会社/JNC 株式会社

一般演題（口演）7**12:45 ~ 13:35****機器・試薬2**

座長：山下 計太（浜松医科大学医学部附属病院 検査部）

大久保滋夫（文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科）

O7-1 ラテックス免疫比濁法を用いた新規プロカルシトニン汎用試薬「ナノピア PCT-A」の基礎性能評価試験

- 齋藤 実菜¹、竹林 史織¹、平井 奈央¹、伊藤 結衣¹、村田 亘¹、
 三井麻由佳¹、佐藤 圭¹、寺田 美雪¹、松田 康平²、加賀屋 潤²、
 新関 紀康¹、山下 計太¹、前川 真人³

(1)浜松医科大学医学部附属病院 検査部, (2)積水メディカル株式会社研究開発統括部, (3)浜松医科大学医学部)

O7-2 汎用自動分析装置用オートタキシン（ATX）測定試薬の評価

- 三栖 徹也、岡田 和大、中野 桃華、牛島 早紀、池田 美咲、
 久保山健治、井上 賢二、川野 祐幸、内藤 嘉紀
 (久留米大学病院 臨床検査部)

O7-3 化学発光酵素免疫測定法を原理とした全自動血中シクロスポリン測定試薬の開発

○田中 美葵, 青柳 克己
(富士レビオ株式会社 研究開発本部)

O7-4 血清、血漿、および全血中の B 型肝炎コア関連抗原 (HBcrAg) が検出可能な迅速検査キットの開発および性能評価

○鈴木 柊伍, 山本 尚季, 山川賢太郎, 小島 哲, 金子 敦,
八木慎太郎, 青柳 克己
(富士レビオ株式会社 研究開発本部)

O7-5 マイクロ流路と VHH 抗体を用いた迅速・簡便なイムノアッセイを実現するスマート ELISA

○瀧脇 雄介^{1,2,3}
(¹国立研究開発法人産業技術総合研究所 健康医工学研究部門, ²国立研究開発法人産業技術総合研究所 先端フォトニクス・バイオセンシングオープンイノベーションラボラトリー, ³国立研究開発法人産業技術総合研究所 次世代治療・診断技術研究ラボ)

一般演題 (口演) 8

15:50 ~ 16:50

脂質 3

座長：平山 哲 (東京学芸大学 大学教育研究基盤センター機構 保健管理センター)
高橋 祐司 (北海道医療大学 医療技術学部 臨床検査学科)

O8-1 Analysis of lipidome in brain from animals of land and aquatic habitats-by LC/MS

○Siddabasave Gowda Bomme Gowda^{1,2}, Divyavani Gowda¹,
Hitoshi Chiba³, Shu-Ping Hui¹
(¹Hokkaido University, Faculty of Health Sciences, ²北海道大学大学院国際食資源学院, ³札幌保健医療大学 栄養学科)

O8-2 アポリポタンパク B 含有リポタンパクが高比重リポタンパク中パラオキソナーゼ 1 活性に与える影響

○川口 莉奈¹, 瀬筒ほの夏², 吉本 明¹, 大川龍之介¹
(¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野,
²東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床検査医学分野)

O8-3 Analysis of plasmalogen levels in plasma samples of children by LC/MS

○Yifan Chen¹, Siddabasave Gowda Bomme Gowda¹, Divyavani Gowda¹,
Rahel Mesfin Ketema¹, 池田 敦子^{1,2}, 千葉 仁志³, 恵 淑萍¹
(¹北海道大学大学院保健科学研究院, ²北海道大学環境健康科学研究教育センター, ³札幌保健医療大学)

O8-4 Detection of potential lipid biomarkers for acute kidney injury using LC/MS○Divyavani Gowda¹, Siddabasave Gowda Bomme Gowda^{1,2},千葉 仁志^{1,3}, 惠 淑萍¹(Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, ²Graduate School of Global Food Resources, Hokkaido University, ³Sapporo University of Health Sciences, Department of Nutrition)**O8-5 培養肝細胞から放出される LDL の脂質プロファイル解析**○櫻井 俊宏¹, 陳 震¹, 茂木すみれ¹, 千葉 仁志², 惠 淑萍¹(北海道大学大学院 保健科学研究所, ²札幌保健医療大学)**O8-6 脂肪肝モデル細胞におけるミトコンドリア膜脂質への酸化 HDL の影響**○石田航太郎¹, 櫻井 俊宏¹, 茂木すみれ¹, 井上 夏緒¹, 千葉 仁志²,惠 淑萍¹(北海道大学 大学院保健科学研究所, ²札幌保健医療大学)**一般演題 (口演) 9****16:50 ~ 17:40****測定法・技術**

座長：廣渡 祐史 (埼玉県立大学保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻)

山内 一由 (信州大学医学部 保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学)

O9-1 グリコヘモグロビン分析計 HLC-723GR01 の性能評価と異常ヘモグロビンの解析○佐藤 亮¹, 前田あかり¹, 鈴木 亮平¹, 長谷川智子¹, 政木 隆博^{1,2},
吉田 博^{1,2}(東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部, ²東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)**O9-2 Affinity 電気泳動による monoclonal 蛋白の新規簡易同定法に関する研究**○宮木 聡恵¹, 神宮 大輝², 林 由里子², 藤田 清貴²(独立行政法人国立病院機構宇都宮病院 臨床検査科, ²群馬パース大学 医療技術学部検査技術学科)**O9-3 血中酸化型アルブミン (HNA) と他の酸化ストレスマーカとの関連**○安川 恵子¹, 川口 智也², 佐藤 雅哉¹, 青山 倫久², 山内 敏正²,
矢富 裕^{1,3}(東京大学医学部附属病院 検査部, ²東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科, ³国際医療福祉大学大学院)**O9-4 LC-MS/MS 分析を用いた 妊娠中トリメスターにおける血清中 2-methoxyestradiol (2ME) 濃度の推移に関する検討**○小林 弘典¹, 野津 吉友¹, 大國 翼¹, 野畑亜希子¹, 佐藤 恵美¹,
折出 亜希², 金崎 春彦², 矢野 彰三²(島根大学医学部附属病院 検査部, ²島根大学医学部 産婦人科)

O9-5 反応過程近似解析ツール MiRuDa のさらなる有用性の検討—鉄測定における反応非収束の事例—

- 中村 元紀¹, 渡部 芽以², 井口 晃弘³, 大野 一彦², 亀田 貴寛^{1,4}, 東田 修二², 大川龍之介¹
 (¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野, ²東京医科歯科大学病院 検査部, ³株式会社日立ハイテク, ⁴帝京大学 医療技術学部)

イブニングセミナー

17:40 ~ 18:30

リンパ腫診療と臨床検査～バイオマーカーを中心に～

座長：東田 修二 (国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床検査医学分野)

演者：増田亜希子 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院 臨床検査部)

共催：積水メディカル株式会社

< 第 5 会場 (1 階 Room A) >

シンポジウム 6

9:30 ~ 11:30

TDM シンポジウム (キックオフシンポジウム)

座長：城野 博史 (熊本大学病院 薬剤部)

菅野 光俊 (福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科)

S6-1 本邦における血中薬物濃度測定品質管理：免疫抑制薬を例に

- 増田 智先
 (姫路獨協大学薬学部 医療薬剤学教室)

S6-2 臨床化学領域の精度管理と標準化の実践

- 菅野 光俊
 (福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科)

S6-3 血中薬物濃度測定における LC-MS/MS の活用と精度管理

- 菊地 正史^{1,2}, 佐藤 祐司², 前川 正充^{1,2}, 眞野 成康^{1,2}
 (¹東北大学大学院 薬学研究科, ²東北大学病院 薬剤部)

S6-4 循環器領域における TDM と精度管理の重要性

- 島本 裕子
 (国立循環器病研究センター 薬剤部)

S6-5 TDM を活用した薬剤師の業務展開

- 山崎 伸吾
 (千葉大学医学部附属病院 薬剤部)

一般演題（口演）10

12:45 ~ 13:35

精度管理・標準化・その他

座長：堀田多恵子（九州大学病院 検査部）

三宅 一徳（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

O10-1 伴侶動物の中性脂肪測定におけるグリセロール消去法と非消去法の関係性

○畑 明寿^{1,2}, 越智 正昭², 古本 佳代^{1,2}, 藤谷 登^{1,2}（¹岡山理科大学 獣医学部, ²岡山理科大学 生物医科学検査研究センター）

O10-2 精度管理から発覚した特定の試料におけるクロスコンタミネーション事例

○寺田 祥¹, 正司 浩規¹, 上野 智浩¹, 日高 洋²（¹大阪大学医学部附属病院 医療技術部 検査部門, ²大阪大学医学部附属病院 臨床検査部）

O10-3 Improving effect of flazin on mitochondrial quality and function in human HK-2 cells

○呉 訓智¹, 何 欣蓉¹, 江口 美祈¹, 千葉 仁志^{1,2}, 惠 淑萍^{1,2}（北海道大学大学院保健科学研究所, ²札幌保健医療大学 栄養学科）

O10-4 M 蛋白血症検体を用いた反応過程近似解析ツール MiRuDa の異常検出能の評価

○竹林 史織¹, 山下 計太¹, 井口 晃弘², 前川 真人³（¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部, ²株式会社日立ハイテク 医用アプリケーション開発部, ³浜松医科大学 医学部）

O10-5 多職種連携における共通言語としての VR/AR の可能性—看護師向け病理学教育を例に—

○神崎 秀嗣

（秀明大学看護学部 専門基礎分野）

一般演題（口演）11

15:50 ~ 16:40

COVID-19

座長：ノ谷 直人（国際医療福祉大学熱海病院 検査部）

菊地 良介（岐阜大学医学部附属病院 検査部）

O11-1 “VirSNiP SARS-CoV-2” 試薬を用いた新型コロナウイルス・オミクロン株の検出

○河野 緑^{1,3}, 永野 裕子², 秋月 摂子^{1,2}, 齊藤 正二², 長谷川智子², 政木 隆博^{1,2}, 吉田 博^{1,2}（¹東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座, ²東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部, ³東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床医学研究所）

**O11-2 SARS-CoV-2 ワクチンのブースター接種以降の体液性と細胞性免疫の挙動
—浜松前向きコホート研究（第2報）—**

○鈴木 朗¹, 山下 計太¹, 竹林 史織¹, 新関 紀康¹, 岩泉 守哉¹,
前川 真人¹
(浜松医科大学医学部附属病院 検査部)

O11-3 当院受診患者の SARS-CoV-2 スクレオカプシド (N) 抗体保有率の推移

○新関 紀康¹, 山下 計太¹, 竹林 史織¹, 鈴木 朗¹, 岩泉 守哉¹,
前川 真人²
(¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部, ²浜松医科大学 医学部)

O11-4 COVID-19 ワクチン接種 5 回後の抗体上昇の経時的推移

○中山 智祥¹, 飯塚 和秀¹, 嶋寄 勇^{1,2}, 土田 祥央^{1,2}, 梅村 啓^{1,2},
青木留美子¹, 石関 治³, 小林 仁美³, 西山 宏幸³, 武居 宣尚³
(¹日本大学医学部 病態病理学系臨床検査医学分野, ²日本大学医学部附属板橋
病院 臨床検査医学科, ³日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部)

O11-5 COVID-19 スクリーニング検査としての SARS-CoV-2 抗体検査の有用性

○山川 智弘¹, 太田 賢治^{1,2}, 加勢田富士子^{1,2}, 小佐井康介^{1,2},
長谷川寛雄^{1,2}, 柳原 克紀^{1,2}
(¹長崎大学病院 検査部, ²長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 病態解析・
診断学)

一般演題 (口演) 12

16:50 ~ 17:40

免疫

座長：清宮 正徳 (国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科)
黒崎 祥史 (北里大学大学院医療系研究科)

O12-1 健康診断受診者における FGF23 と高感度心筋トロポニンとの関連

○伊藤 敦巳¹, 野澤 佳祐¹, 及川 貴允¹, 西中麻里奈¹, 吉野 寛隆¹,
高橋 希¹, 佐渡 正敏¹, 藤井 聡², 坂本 央¹, 奥村 利勝¹
(¹旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部, ²北海道大学病院 検査・輸血部)

O12-2 モデルマウスを用いた乾癬の病態解析

○後藤 和人^{1,2}, 康 東天^{2,3}
(¹東海大学医学部 基盤診療学系 臨床検査学, ²九州大学病院 検査部, ³香椎
丘リハビリテーション病院)

O12-3 蛍光酵素免疫測定法による B 型肝炎ウイルス HBs 抗体価の有用性に関する研究

○高橋あゆ子¹, 林 由里子¹, 角田紀代美², 染谷 凱斗², 亀子 光明¹,
藤田 清貴¹
(¹群馬パース大学医療技術学部 検査技術学科, ²群馬パース病院診療技術部
臨床検査科)

O12-4 LPS 誘発性炎症反応における LRP1 の病態生理学的意義

○赤羽 匠吾¹, 坂本 健太², 松浦 弘人¹, 山内 一由¹

(¹信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻, ²山梨大学医学部附属病院
検査部)

O12-5 Ultrafree-MC 遠心フィルターユニットを用いた Protein G による簡易 IgG 精製法の検討

○長澤 紀佳, 林 由里子, 松下 誠, 藤田 清貴

(群馬パース大学医療技術学部 検査技術学科)

プログラム第3日目 2023年10月29日(日)

<第1会場(2階 sola city Hall WEST)>

シンポジウム7

9:20 ~ 11:20

HDL機能検査の現状と課題

座長：小倉 正恒（順天堂大学医療科学部 臨床検査学科）

大川龍之介（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野）

S7-1 コレステロール引き抜き能の新たな展開：睡眠時無呼吸症候群からの探求

○遠藤 康弘^{1,2}, 佐々木 誠², 佐々木 慧², 綾織 誠人³, 中山 秀章⁵,
井上 雄一⁴, 池脇 克則²

(¹防衛医科大学校 防衛医学研究センター 特殊環境衛生研究部門, ²防衛医科大学校 神経・抗加齢血管内科, ³所沢ハートセンター, ⁴睡眠総合ケアクリニック代々木, ⁵東京医科大学 睡眠医学講座)

S7-2 安定同位体を用いた HDL コレステロール引き抜き能

○吉田 博

(東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部)

S7-3 無細胞系コレステロール引き抜き能の開発・改良とその臨床応用

○堀内 優奈^{1,2}, 戸塚 実^{2,3}, 大川龍之介²

(¹順天堂大学医療科学部 臨床検査学科, ²東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野, ³長野県立こども病院 生命科学センター)

S7-4 新たな HDL 機能指標 “コレステロール取り込み能” と臨床応用

○杜 隆嗣

(神戸大学大学院医学研究科 立証検査医学分野)

S7-5 コレステロール引き抜き能検査の未解決課題とその克服

○小倉 正恒

(順天堂大学医療科学部 臨床検査学科)

ランチオンセミナー8

11:30 ~ 12:20

進行卵巣がんに対する手術療法の実際

座長：政木 隆博（東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部 診療部長）

演者：高野 浩邦（東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科 教授）

共催：アボットジャパン合同会社

< 第2会場 (2階 sola city Hall EAST) >

シンポジウム 8

9:20 ~ 11:20

肝疾患におけるバイオマーカー研究

座長：政木 隆博（東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部）

田中 靖人（熊本大学 消化器内科学講座）

S8-1 血漿カリクレイン依存的な TGF- β 前駆体の切断を指標とした肝線維化マーカーの開発○古谷^{ふるたに} 裕^{ゆたか}¹, 政木 隆博¹, 松浦 知和^{1,2}, 越智 小枝¹（¹東京慈恵会医科大学医学部 臨床検査医学講座, ²佐々木研究所附属 湘南健診センター）

S8-2 肝がんの治療と予後予測における血中 MYCN 測定の臨床的意義

○秦^{しん} 咸陽^{かんよう}

（理化学研究所 細胞機能変換技術研究チーム）

S8-3 新規タンパク質分泌機構 CUPS の発見と早期肝がんバイオマーカーの研究開発

○山田^{やまだ} 幸司^{こうじ}

（東京慈恵会医科大学医学部 生化学講座）

S8-4 C型肝炎ウイルス除去後の病態、発癌のメカニズム

○相崎^{あいぎき} 英樹^{ひでき}¹, 青柳 東代¹, 飯島 尋子², 松田 麻未¹, 若江 亨祥¹, 渡士 幸一¹, 鈴木 亮介¹, 政木 隆博^{1,3}, 杉山 真也⁴, 坪田 昭人⁵, 島田 紀朋⁶, 加藤 慶三⁷, 村松 正道¹, 溝上 雅史⁴, 脇田 隆字¹（¹国立感染症研究所 ウイルス第二部, ²兵庫医科大学・消化器内科, ³東京慈恵会医科大学・臨床検査, ⁴国立国際医療研究センター・感染病態研究部, ⁵東京慈恵会医科大学・基盤研究施設, ⁶おおたかの森病院・消化器肝臓内科, ⁷新松戸中央総合病院・消化器病センター）

S8-5 血清 LG2m 値による C 型肝炎 SVR 後患者の肝発がんリスク層別化に関する解析

○島上^{しまかみ} 哲朗^{てつろう}^{1,2}, 丹尾 幸樹¹, 山下 太郎¹（¹金沢大学附属病院 消化器内科, ²金沢大学 保健管理センター）

ランチオンセミナー 9

11:30 ~ 12:20

新しい精度保証のかたち～反応過程教育の重要性～

座長：大川龍之介（東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野）

演者：和田 哲（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

共催：株式会社 日立ハイテック

< 第3会場 (1階 Room C) >

シンポジウム9

9:20 ~ 11:20

古くて新しい動物臨床化学～忘れてはいけないこと、そして未来にむけて～

座長：倉田 昌明 (株式会社ボゾリサーチセンター)

蓑毛 博文 (株式会社新日本科学 安全性研究所)

S9-1 動物臨床化学—温故知新—

○豊田 直人

(中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部/動物臨床化学専門委員会)

S9-2 非臨床分野での臨床化学検査におけるラット試料で考慮すべき影響要因 (酵素, 糖, 電解質)

○館岡 孝

(田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 安全性研究所)

S9-3 非臨床分野の臨床化学検査で考慮すべき影響要因 (蛋白、脂質系) : 測定値差につながる流派の違い

○佐々木大祐

(アステラス製薬株式会社 開発研究部門 非臨床バイオメディカルサイエンス)

S9-4 動物臨床化学における種差～忘れてはいけない基本と未解決課題の今後～

○平澤 由貴

(株式会社イナリサーチ)

第39回日本臨床化学会関東支部例会

例会長：小谷 和彦 (自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門)

関東支部常任幹事会

12:35 ~ 13:00

支部報告

臨床化学アカデミー

13:30 ~ 15:30

座長：小谷 和彦 (自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門)

山田 俊幸 (自治医科大学医学部 臨床検査医学講座)

CA-1 関節疾患の制御を目指した mRNA 医薬への展開

○茂久田 翔

(広島大学病院 検査部)

CA-2 糖尿病から腎臓を守る

- 石井 直仁, 黒崎 祥史, 井本 明美
(北里大学医療衛生学部 医療検査学科 臨床化学研究室)

<第4会場 (1階 Room B) >

一般演題 (口演) 13

9:20 ~ 10:10

酵素

座長: 石井 直仁 (北里大学 医療衛生学部)
金子 誠 (三井記念病院 臨床検査部)

O13-1 臨床検査用酵素 LD・MD の動的反応機構の比較

- 西矢 芳昭^{1,2}
(¹摂南大学理工学部 生命科学科, ²摂南大学大学院 理工学研究科 生命科学専攻)

O13-2 ヒト血清乳酸デヒドロゲナーゼ LD 抗体の特異性について

- 近藤 明
(天理大学医療学部 臨床検査学科)

O13-3 *Morganella morganii* 菌における新規 DNA メチル化酵素の同定

- 西村 基¹, 田中 知明², 村田 正太¹, 宮部安規子¹, 石毛 崇之¹,
西村 (東條) 里美², 松下 一之¹
(¹千葉大学医学部附属病院 検査部, ²千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学)

O13-4 マクロ CK-Type1 と免疫阻害法による CK-MB%との関連性についての検討

- 高山 知子, 大江 宏康, 大島 恵, 森 三佳, 蒲田 敏文
(金沢大学附属病院 検査部)

O13-5 特殊健康診断における尿中有機溶剤代謝産物の酵素的測定法の開発

- 奥迫 拓也¹, 垣羽 駿², 西矢 芳昭^{1,2}
(¹摂南大学大学院 理工学研究科 生命科学専攻, ²摂南大学理工学部 生命科学科)

一般演題 (口演) 14

10:20 ~ 11:10

栄養・その他

座長: 目黒 周 (慶應義塾大学医学部 内科学教室 腎臓内分泌代謝内科)
石橋みどり (新東京病院 臨床検査室)

O14-1 生さばとさば缶詰に含まれるオキシステロール量の比較

- 中川 沙織, 秋武 万葉, 古寺 りみ, 桑原 直子, 佐藤 眞治
(新潟薬科大学)

O14-2 周産期の母体血および臍帯血のリポ蛋白リパーゼ変動と胎児発育の関連

○相良利栄子¹, 平山 哲^{1,2}, 福島 理文^{1,3}, 上野 剛¹, 甲斐 敬人¹,
西岡 笑子⁴, 松川 岳久^{5,6}, 牧野慎太郎⁷, 三井田 孝^{1,3}

(¹順天堂大学大学院医学研究科 臨床病態検査医学, ²東京学芸大学 大学教育
研究基盤センター機構 保健管理センター, ³順天堂大学 臨床検査医学科,
⁴順天堂大学保健看護学部 看護学科 母性看護学, ⁵順天堂大学医学部 衛生
学・公衆衛生講座 (衛生学), ⁶順天堂大学医学部 法医学講座, ⁷順天堂大学医
学部 産婦人科学)

O14-3 ヒト表皮角化細胞を用いたビタミンD合成に対するエルゴステロールの影響

○桑原 直子, 清水 (太田) 美穂, 佐藤 眞治, 中川 沙織
(新潟薬科大学)

O14-4 非標的液体クロマトグラフィー/質量分析による食用ナマコの機能性脂質分析

○南 雄介¹, Siddabasave Gowda Bomme Gowda¹, Divyavani Gowda¹,
千葉 仁志², 恵 淑萍¹

(¹北海道大学 大学院保健科学院, ²札幌保健医療大学保健医療学部 栄養学科)

O14-5 ケンペロールによるミトコンドリアへの作用

○櫻井 知子¹, 櫻井 俊宏¹, 何 欣蓉¹, 千葉 仁志², 恵 淑萍¹
(¹北海道大学 大学院保健科学研究所, ²札幌保健医療大学)

プログラム ポスターセッション

<ポスター会場 (2階 Terrace Room) >

一般演題 (ポスター) 1

17:00 ~ 17:35

座長：仁井見英樹 (富山大学 学術研究部医学系 臨床分子病態検査学講座)

松井 啓隆 (国立がん研究センター中央病院 臨床検査科)

P1-1 組織沈着 AA 蛋白のプロテオーム解析より見出された SAA とヒストンとの結合能評価

○川口 公平^{1,2}, 佐藤 純司², 山田 俊幸¹

(¹自治医科大学 臨床検査医学, ²栄研化学株式会社 応用技術研究所)

P1-2 臨床プロテオミクスによる脳脊髄液の循環遊離型ミトコンドリア DNA 関連因子の探索

○野見山倫子, 瀬戸山大樹, 山中 基子, 堀田多恵子, 國崎 祐哉

(九州大学病院 検査部)

P1-3 質量分析装置を用いたアミロイドーシス類似疾患の診断および検出蛋白質の特徴

○田崎 雅義^{1,2}, 後藤 瑞恵³, 植田 光晴¹

(¹熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経内科学講座, ²熊本大学大学院生命科学研究部 生体情報解析学講座, ³日本海総合病院 腎臓膠原病内科)

P1-4 副甲状腺ホルモン分解における直接経口抗凝固薬によるトロンビンおよび内在性酵素の抑制の意義に関する検討

○村松 翔太¹, 岡 周作¹, 藤森 祐多¹, 中川 央充¹, 横田 里紗¹,

藏藤 利暢¹, 中村 祥子¹, 近藤 佳乃¹, 尾崎 裕子¹, 野口 昌代¹,

大野 明美¹, 横田 浩充¹, 涌井 昌俊^{1,2}, 松下 弘道^{1,2}

(¹慶應義塾大学病院 臨床検査科, ²慶應義塾大学医学部 臨床検査医学)

P1-5 播種性血管内凝固症候群において APP770 は血栓形成に関与する

○鈴木 英明^{1,5}, 小菅 優子², 小林 浩二³, 菅野 光俊¹, 黒崎 祥史⁴,

井本 明美⁴, 石井 直仁⁴, 小川 一英¹, 北爪しのぶ¹, 志村 浩己⁵

(¹福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科, ²四日市看護医療大学看護医療学部 臨床検査学科, ³北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科, ⁴北里大学医療衛生学部 医療検査学科 臨床化学研究室, ⁵福島県立医科大学医学部 臨床検査医学講座)

P1-6 健常成人における血漿、血清、血小板中の VEGF-A165 と VEGF-A121 の比較定量解析

○竹之内和則¹, 山口 宗一^{1,2}, 大川 政士³, 東 貞行^{1,2}, 藤崎知園子²,

大山 陽子^{1,2}, 田上 聖徳², 田原 明人¹, 橋口 照人^{1,2}

(¹鹿児島大学大学院 歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野, ²鹿児島大学病院 検査部, ³鹿児島大学大学院 歯学総合研究科 心臓血管外科学分野)

P1-7 血栓症症例におけるプロテイン C 遺伝子バリエーションとその特徴

○藤島 章義¹, 松本 信也¹, 植柳 泰¹, 堀田多恵子¹, 内海 健²,
 國崎 祐哉¹
 (¹九州大学病院 検査部, ²九州大学医学研究院 保健学部門)

一般演題 (ポスター) 2

17:00 ~ 17:35

座長: 川崎 健治 (千葉大学医学部附属病院 検査部)

加藤 公則 (新潟大学大学院 生活習慣病予防・健診医学講座)

P2-1 α -ソラニンおよび α -チャコニンを検出する新規 ELISA システムの構築

○岡田 光貴¹, 松尾 佳乃²
 (¹京都橘大学健康科学部 臨床検査学科, ²京都橘大学大学院 健康科学研究科)

P2-2 全自動蛍光抗体法分析装置 (HELIOS) を用いた抗トポイソメラーゼ I 抗体陽性患者の抗核抗体像と ICAP 分類の比較

○高田 侑実¹, 臼井 哲也¹, 石原 香織¹, 木村由美子¹, 加勢田富士子^{1,2},
 長谷川寛雄^{1,2}, 柳原 克紀^{1,2}
 (¹長崎大学病院 検査部, ²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病態解析・診断学分野)

P2-3 新規免疫制御剤の候補化合物に関する作用機序の解析

○神宮 大輝¹, 石垣 宏尚, 藤田 清貴, 松下 誠, 高橋 克典
 (群馬パース大学医療技術学部 検査技術学科)

P2-4 絶食マウスにおける nesfatin-1 の GLP-1 分泌促進作用

○多河 典子¹, 小椋帆乃佳¹, 宮脇 光¹, 浅川 明弘², 加藤 郁夫¹
 (¹神戸薬科大学 病態生化学研究室, ²鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 心身内科学分野)

P2-5 慢性維持血液透析患者における血清脂質・石灰化指標と動脈硬化の関係

○向井 秀幸¹, 岩津 好隆^{1,2}, 小倉 学³, 山田 俊幸², 黒尾 誠¹,
 小谷 和彦⁴
 (¹自治医科大学 分子病態治療研究センター 抗加齢医学研究部, ²自治医科大学 臨床検査医学講座, ³おぐら内科・腎クリニック, ⁴自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門)

P2-6 B 型慢性肝炎患診療における各種肝炎ウイルスマーカーの測定とその臨床的意義

○政木 隆博^{1,2}, 佐藤 亮¹, 鈴木 亮平¹, 宮本 博康³, 秋月 摂子^{1,2},
 齊藤 正二¹, 長谷川智子¹, 吉田 博^{1,2}
 (¹東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部, ²東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座, ³東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部)

P2-7 COVID-19 ワクチン追加接種後の抗体量の推移

○東^{ひれ} 智^{さと}輝^き, 山下 瑞稀, 大槻 晋也, 梅野 詳子, 多賀由紀子,
仁井見英樹
(富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部)

より迅速に、より精度良く、より簡単に AIA[®]-CLシステム

全自動化学発光酵素免疫測定装置

AIA-CL1200

製造販売届出番号 13B3X90002000020

スループット 最大120テスト/時



全自動化学発光酵素免疫測定装置

AIA-CL2400

製造販売届出番号 13B3X90002000018

スループット 最大240テスト/時



化学発光酵素免疫測定試薬

AIA-パックCL[®]試薬

全自動化学発光酵素免疫測定装置

AIA-CL300

製造販売届出番号 13B3X90002000021

スループット 最大30テスト/時



モノテスト方式

&

凍結乾燥技術

+

化学発光検出法

特長

- 化学発光基質DIFURAT[®] 使用による高感度測定と検体量低減
- 結果報告時間約15分(一部項目は除く)
- 2ステップ法採用による測定レンジ拡大
- 校正試薬、検体希釈試薬の凍結乾燥カップ化
- 日常点検の予約実行機能搭載

※AIA、AIA-パックCL、DIFURATは東ソー株式会社の登録商標です。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京本社 ☎(03)5427-5181

名古屋支店 ☎(052)211-5730

仙台支店 ☎(022)266-2341

カスタマーサポートセンター ☎(0467) 76-5384

ホームページ <https://www.diagnostics.jp.tosohbioscience.com/>

大阪支店 ☎(06)6209-1948

福岡支店 ☎(092)781-0481

医療・健康ニーズに応じて、
人々の健康・福祉に
いっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



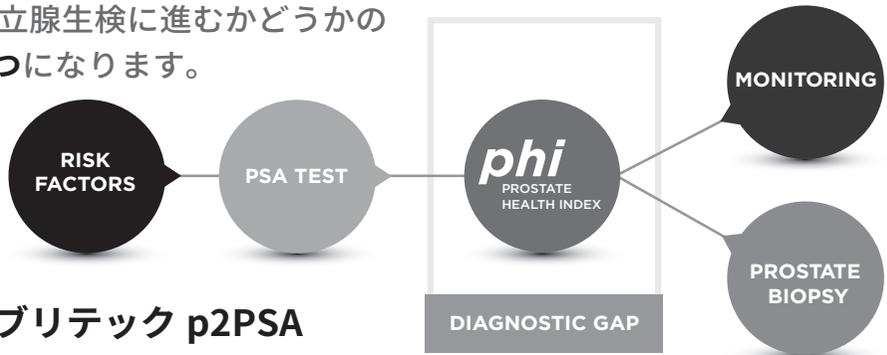
MOCHIDA

持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>

プロステートヘルスインデックス (phi)

phi の値が、前立腺生検に進むかどうかの判断基準のひとつになります。



体外診断用医薬品

アクセス ハイブリテック p2PSA

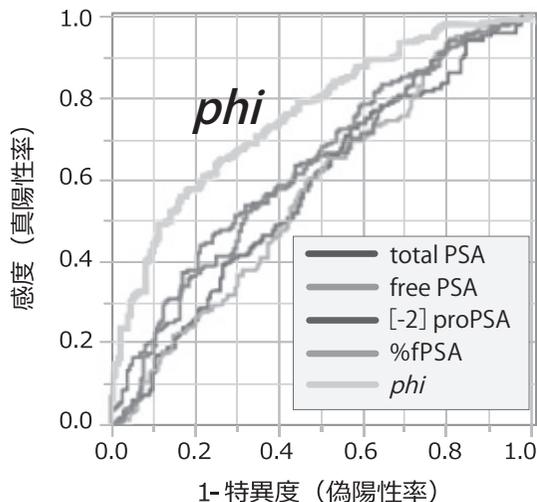
製造販売承認番号: 30200EZ00002000

【検体種 / 検体量】	血清 / 50 μ L
【測定時間 / 測定範囲】	約20分 / 0.50 ~ 5,000 pg/mL
【検体保存条件】	採血から3時間以内に遠心分離し冷蔵保存 24時間以内に測定しない場合は、-20 $^{\circ}$ C以下で凍結保存



プロステートヘルスインデックス (phi) は total PSA、free PSA、[-2]proPSA の測定値から導かれる、前立腺がんにおける針生検実施判断の補助になる指標です。

PSA 単独より高い特異性¹



73%の臨床医が、**phi**により針生検に進むことに確信がもてるようになったと感じています。²

1. アクセス ハイブリテック p2PSA 添付文書 第2版 (2021年11月作成)
2. White J, Shenoy BV, Tutrone RF et al. Clinical utility of the Prostate Health Index (phi) for biopsy decision management in a large group urology practice setting. Prostate Cancer Prostatic Dis. 2018;21:78-84. <https://doi.org/10.1038/s41391-017-0008-7>

© 2023 ベックマン・コールター株式会社
アクセス、Beckman Coulter および Beckman Coulter ロゴは、Beckman Coulter, Inc. の登録商標です。

NEW

LPAM[®]

検査室工程自動化モジュラーシステム

Laboratory Process Automation Modular System [エルパム]

検査室からムダを排除し、最適化します。



株式会社 エイアンドティー

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町2-6 横浜プラザビル

Tel.045(440)5810

<https://www.aandt.co.jp/>

さらに詳しい情報はこちらから >



INVENTING FOR LIFE

人々の生命を救い
人生を健やかにするために、挑みつづける。

MSD株式会社 www.msd.co.jp 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア

 **MSD製薬**
INVENTING FOR LIFE

生化学検査試薬

体外診断用医薬品

試薬1/試薬2 セット包装シリーズ

70 / 70 包装



70 / 20 包装



40 / 20 包装



20 / 20 包装



特長

- 試薬1と試薬2のセット包装です。
- 試薬比に合った充填量です。
- 試薬1、試薬2を同一の試薬ロット、有効期限内で管理することが可能です。
- 各種生化学汎用自動分析装置に適用できます。

 **関東化学株式会社**

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
TEL : 03-6214-1091
HP : <https://www.kanto.co.jp>



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



Healthcare for You

私たちエスアールエルは、
医療機関から預かる、
患者さまの検体を通して、
いのちの未来を見つめています。



株式会社 エスアールエル



H.U.フロンティア

「H.U.フロンティア株式会社」は、エスアールエル、富士レディオ、日本ステリの営業機能をひとつに統合した、H.U.グループの営業統合会社です。



cobas® pure integrated solutions

コンパクトなハイブリッドが、あなたの働き方を変えていく。

検査室により多くのことが求められるようになったいま、ロシュは検査における、あらゆる過程をシンプルにする新たなソリューションを開発。生化学・免疫検査をわずか2m²の設置面積に集約したcobas® pureは、生化学モジュールで最大42項目、免疫モジュールで最大28項目の同時測定を可能に。cobas® proとの標準化も実現したコンパクトなハイブリッドシステムが、スピーディで正確な診断に貢献し、あなたの働き方を変えていきます。

生化学・免疫統合型分析装置
cobas® pure integrated solutions 登場



製品の詳細は
こちら



販売名: コバス pure 製造販売承認番号: 13B1X00201000097
販売名: コバス pro 製造販売承認番号: 13B1X00201000081

Find out more on
diagnostics.roche.com

COBAS is a trademark of Roche.
©2022 Roche

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
〒108-8075 東京都港区赤坂1-2-79
<http://www.roche-diagnostics.jp>
カスタマーソリューションセンター ☎0120-600-152

cobas®

AsahiKASEI
旭化成ファーマ

保険適用

※ 外 診 用 医 薬 品
認証番号: QS3AEZ2000055000

グリコアルブミン(GA) ～糖尿病の血糖コントロールに～

ヘモグロビンA1c(HbA1c)、グリコアルブミン、1,5-アンヒドロ-D-グルシトール(1,5AG)のうちいずれかを同一月中に併せて2回以上実施した場合は、月1回に限り主たるもののみ算定する。ただし、妊娠中の患者、1型糖尿病患者、終口血糖降下薬の投与を開始して6月以内の患者、インスリン治療を開始して6月以内の患者等については、いずれか1項目を月1回に限り別に算定できる。(令和2年3月5日 保医発0305第1号)

検体検査実施料:55点、生化学的判断料:144点

- 各種汎用生化学自動分析装置で簡単に測定できます。
- 外来迅速検体検査加算適応 10点/項目
- 微量の血清・血漿で簡単に測定できます。
- 検査会社でも受託検査をしています。
- 献血時の検査サービスでも測定されています。

製造販売元(文獻請求先および問い合わせ先)
旭化成ファーマ株式会社
診断薬製品部
〒100-0006
東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
TEL: 03(6699)3617
URL: <https://www.asahi-kasei.co.jp/shindan/>



GA測定用常用参照標準物質対応試薬として
2022年から発売開始
糖尿病の血糖コントロールマーカー
グリコアルブミン測定試薬

ルシカ® GA-L2

GA202201-7



TTR型アミロイドーシス治療薬

ビンマック®カプセル61mg

Vynmac® capsules 61mg タファミジスカプセル

創薬 処方箋医薬品^{※1} 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

TTR型アミロイドーシス治療薬

ビンダケル®カプセル20mg

Vyndaqel® capsules 20mg タファミジスメグルミンカプセル

創薬 処方箋医薬品^{※1} 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

- 「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項」、「効能又は効果に関連する注意」等につきましては電子化された添付文書または電子添文をご参照ください。

製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

文献請求先及び製品の問い合わせ先:

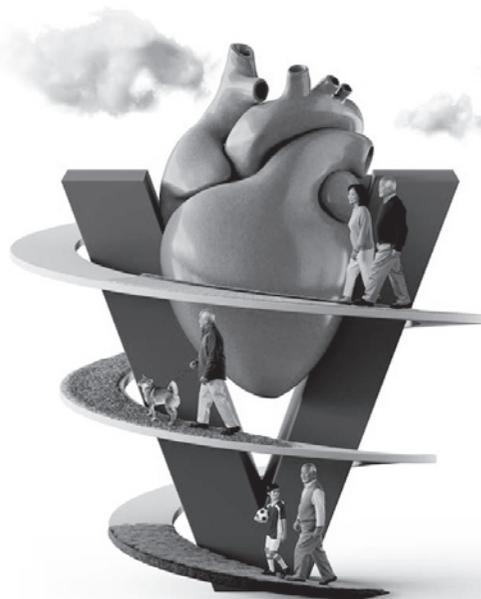
製品情報センター 学術情報ダイヤル 0120-664-467

<https://pfizerpro.jp/> (PfizerPro) にも製品関連情報を掲載

販売情報提供活動に関するご意見:

0120-407-947

<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/contact/index.html>



VYN72J002D

2022年11月作成

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/

精度管理用凍結試料

L-スイトロール®U

N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)、浸透圧 さらに
IgG、トランスフェリン(Tf)、 β 2-ミクログロブリン(BMG)
も管理できます 腎機能障害の度合いを模した3濃度の組み合わせ



特長

- ヒトプール尿をベースにしています。
- 臨床検体に近似した反応性を示します。
- 全項目で2濃度以上が対象になりますので、精度管理に最適です。
- 点眼瓶を採用した、3濃度のセット包装です。
- 融解後、2~10℃保存にて14日間使用できます。

対象項目一覧

検査項目	総蛋白	アルブミン	グルコース	アミラーゼ
NAG	クレアチニン	尿酸	尿素窒素	ナトリウム
カリウム	クロール	マグネシウム	カルシウム	無機リン
浸透圧	IgG	Tf	BMG	

製造販売元

島津ダイアグノスティクス 株式会社

お問い合わせ先: カスタマーサポート 担当 TEL: 03 (5846) 5707

URL: <https://clinical-diagnostics.biz.sdc.shimadzu.co.jp/>

臨床診断薬分野
医療関係者向けサイト



抗ウイルス化学療法剤

処方箋医薬品[※] 薬価基準収載

マヴィレット® 配合錠

配合顆粒小児用

MAVIRET®

グレカプレビル水和物・ビブレンタスビル配合剤

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

- 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等については電子化された添付文書(電子添文)をご参照ください。

製造販売元

アッヴィ合同会社

(文献請求先及び問い合わせ先)
くすり相談室

東京都港区芝浦3-1-21

フリーダイヤル 0120-587-874

2022年10月作成

JP-MAVI-220382-1.0

abbvie



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社